

解体工事概要及び特記仕様書

I. 解体工事概要

1.	工 事 名	北見市中央大通沿道地区第一種市街地再開発事業 (北見写真館)	解体工事
2.	工 事 場 所	北見市北3条西1丁目6番1	
3.	竣 工 期 限	令和 6 年 8 月 3 0 日 迄とする。	
4.	工 事 内 容	基礎及び地中埋設物を含む建物の解体	
5.	別 途 工 事		
6.	解 体 建 物	下記による	

	名 称	構 造 種 別	階 数	棟 数	延面積	備 考
○	北見写真社	・RC造・S造・W造・その他	3 階建	4 棟	㎡	店舗・事務所
・		・RC造・S造・W造・その他	階建	棟	㎡	
・		・RC造・S造・W造・その他	階建	棟	㎡	
・		・RC造・S造・W造・その他	階建	棟	㎡	
・		・RC造・S造・W造・その他	階建	棟	㎡	
・		・RC造・S造・W造・その他	階建	棟	㎡	

· 施工条件

- 1) アスベストは解体工事前に除去処理をおこなう事。(調査費済み)
- 2) 建物解体後に砂利敷として駐車場に整備する。

Ⅱ. 建築物解体工事共通仕様

- ① 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁審繕部監修「建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）・同解説」（以下、「解体共仕」という。）による。
- ２．提出書類は、監督員と協議の上作成、提出のこと。
- ３．特記仕様書の取り扱いについては、下記による。
- （１）章及び項目は番号に○印を付けたものを適用する。
- （２）特記事項で ○印、※ 印、⊗ 印、・ 印のある場合の適用は下記による。
- 印のついたものを適用し、・印のついたものは適用しない。
- 印のない場合は、※印のついたものを適用する。
- ⊗印と ⊗印のある場合は共に適用する。
- （３）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、解体共仕の当該図又は当該表を示す。
- （４）特記事項に記載の(共仕○.○.○)表示番号は、共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- （５）特記仕様書中の※印と共通仕様書の内容に相違がある場合は特記仕様書を優先する。
- （６）共通仕様書に特記によるとり、特記仕様書に記載の無いものは図示による。
- ４．受注者は、工事の施工に当たり、周辺環境の保全に勤めるとともに適用を受ける関係法令等遵守し、必要に応じて以下の関係法令等に従い手続き等を行い、工事を適切に施工すること。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という）
 - ・建設工事に係る再生資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という）
 - ・資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「リサイクル法」という）
 - ・ポリ塩化ビニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（以下「ＰＣＢ特別措置法」という）
 - ・特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（以下「フロン回収破壊法」という）
 - ・ダイオキシン関係特別措置法 ・労働安全衛生法 ・大気汚染防止法 ・騒音規制法 ・水質汚濁規制法
 - ・土壌障害予防規則 ・特定化学物質等障害予防規則 ・建築基準法 ・環境基本法 ・土壌汚染対策法
 - ・建設副産物適正処理推進要綱 ・振動規制法
- ５．受注者は、「建設工事公衆災害防止対策要綱」「建設工事概況」「建築物の解体工事における外壁の崩落等による公衆災害防止対策に関するガイドライン」を遵守し、災害防止に努めること。

Ⅲ．特記仕様

章	項	目	特 記 事 項
一 般 共 通 事 項	①	工事実績情報の登録	○ 適用する (請負金額500万円以上) (1.1.4)
	②	設計図書 の 取 扱 い	・ 適用しない (a) 設計図書及び設計図書において適用される必要な図書を整備する。 (b) 設計図書及び工事関係図書を、工事の施工のために使用する以外の目的で第三者に使用せないのである。また、その内容を書き換えしない。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。(1.1.6)
	3	別 契 約 の 関 連 工 事	別契約の施工上密接に関連する工事については、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに、工事全体の円滑な施工に努める。(1.1.7)
	④	発 生 材 の 処 理	・ 引き渡し (品目 引渡先) ・ 再利用 (品目) ○ 特別管理産業廃棄物 (品目 アスベスト、PCB 処理方法 除去) ○ 再生資源化 (品目 コンクリート 般出先) (品目 7777777777777777 般出先) (品目 木 材 般出先)
	⑤	建 設 副 産 物 対 策 等 の 責 任 者	○ 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令に従い適切に処理する。(1.1.13) ○ 次の(1)から(3)の責任者を選任し、適切な業務を行う。責任者は兼任することができる。 (1) 建設副産物対策責任者 (2) 特別管理産業廃棄物管理責任者 (3) 産業廃棄物処理責任者 (1.3.2)
	⑥	電 気 保 安 技 術 者	・ 工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行なうものとする。 ○ 要 ・ 不要 (1.3.3)

① 一般共通事

- | | |
|---------------|---|
| ① 施 工 条 件 | <div data-bbox="988 138 1047 151">① 施工時間</div> <div data-bbox="1056 138 1394 191"> <p>(1) 行政機関の休日に関する法律に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、設計図書に定めのある場合はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。</p> <p>(2) 設計図書に施工時間が定められている場合で、その時間を変更する必要がある場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。</p> <p>(3) 設計図書に施工時間等が定められていない場合で、夜間に工事の施工を行う場合は、あらかじめ理由を付した書面を監督員に提出する。</p> <p>・ 工事車両の駐車場所及び資機材の置場等は、特記がなければ、敷地内とする。 (1.3.5)</p> </div> |
| ② 施工中の安全確保 | <div data-bbox="988 275 1047 287">① 施工の安全確保</div> <div data-bbox="1056 275 1394 327"> <p>(1) 施工に先立ち、現場に交通安全委員会、安全衛生協議会を設置し安全及び災害・公害の防止に關し必要な事項を、関係法令に従い適切に定めた事項を監督職員に提出する。</p> <p>(2) 騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の影響がでないように努めること又は化学製品の取り扱いについては、作業者の安全、健康を確保し、環境保全に努めること。 (1.3.6)</p> <p>火災保険、その他工事的物物が対象となる保険</p> </div> |
| ③ 工 事 の 保 険 | <div data-bbox="988 378 1047 388">② 必要</div> <div data-bbox="1056 378 1394 388"> <p>・ 必要</p> </div> |
| ④ 近 隣 と の 折 衝 | <div data-bbox="988 447 1047 459">③ 必要</div> <div data-bbox="1056 447 1394 459"> <p>工事の施工に当たっての近隣との折衝は、次による。</p> </div> |
| ⑤ 近 隣 と の 折 衝 | <div data-bbox="988 518 1047 531">④ 必要</div> <div data-bbox="1056 518 1394 531"> <p>(1) 地域住民等と工事の施工上必要な折衝を行うものとし、あらかじめその概要を監督員に報告する。</p> <p>(2) 工事に関して、第三者から説明の要求又は苦情があった場合は、直ちに誠意をもって対応する。 (1.3.11)</p> </div> |
| ⑥ 施 工 | <div data-bbox="988 571 1047 583">⑤ 必要</div> <div data-bbox="1056 571 1394 583"> <p>施工は、設計図書、施工計画書、監督職員の承諾を受けた実施工程表等に従って行う。 (1.5.1)</p> </div> |
| ⑦ 工 法 の 提 案 | <div data-bbox="988 630 1047 642">⑥ 必要</div> <div data-bbox="1056 630 1394 642"> <p>設計図書に定められた工法以外で、安全性の確保及び環境の保全に有効な工法の提案がある場合は、監督職員と協議する。 (1.5.5)</p> </div> |
| ⑧ 建 設 機 械 | <div data-bbox="988 680 1047 693">⑦ 必要</div> <div data-bbox="1056 680 1394 693"> <p>解体工事の重機（7トﾝ・8.ﾊﾞｯｸｸﾗﾝﾁ等）は、排出ガス対策型、低騒音型の車両を使用する事。</p> </div> |

② 仮設工事

- | | | |
|------|------------------------|---|
| 仮設工事 | ① 仮設材料料
② 騒音・粉塵等の対策 | <p>仮設に使用する材料は、使用上差し支えないものとする。(2.1.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 騒音・粉塵等の対策は、次の(1)から(3)による。 <ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 防音パネルは、隙間なく取り付ける。 ・ (2) 防音シートは、ジョイントの重ねと結束を十分に施す。(金網併用) ○ (3) 養生シート等は、隙間なく取り付ける。 (b) 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲〔※設計図による〕 高さ〔※設計図による〕 (c) ブレーカー・穿孔機、破砕機、圧碎機等による粉塵発生部に常時散水を行う。(2.2.1) |
| | ③ 監督員事務所 | <p>・ 構内に新設する ・ 既存施設の一部を利用する ○ 設けない</p> <p>・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号</p> <p>冬期間にかかる場合は窓を二重とし、各部分は防寒仕様とする。</p> <p>備品等の設置 ・ 机 ・ 椅子 ・ 書棚 ・ 寒暖計 ・ ストープ
・ 黒板 ・ ゴム靴 ・ 雨がっぱ ・ 保護帽 ・ 懐中電灯 ・ 懐中電源
・ 安全帯 ・ 電話 ・ ロッカー ・ 消火器 ・ その他 (2.3.1)</p> |
| 解体 | ① 事前措置
③ | <p>建案物等の解体に先立ち、次の事前措置を行う。</p> <p>(1) 特別管理産業廃棄物、アスベスト含有建材又は特殊な建設副産物がある場合は、5章〔特別管理産業廃棄物の処理〕、6章〔アスベスト含有建材の除去〕又は7章〔特殊な建設副産物の処理〕による除去及び回収を行う。</p> <p>(2) 各種設備機器の停止及び給水、ガス、電力、通信の供給が停止していることを確認する。</p> <p>なお、給水管、ガスパ管、ケーブル等の供給管の切断は、次の(a)及び(b)による。</p> <p>(a) 切断は、躯体に支障がない位置で適切に行い、給水管、ガスパ管等是一次側をプラグ止めとするなど止水又は漏えい防止の措置を講ずる。また、切断位置は明確にし、記録を残し監査員に提出する。</p> |

体
施
工

- | | |
|----------------------------|--|
| <p>体</p> <p>施</p> <p>工</p> | <p>(4) 溶け下るおそれのある汚濁物は、事前にごみ捨てをお願いします。</p> <p>(4) 建築物等の躯体に際して、周辺環境に害虫等による影響が予想される場合は、駆除等を行う。</p> <p>(5) 電気設備のコンデンサ等は、残留電荷の放電を行う。</p> <p>(6) 蓄電池等は、充電状態の確認を行い、短絡等による事故発生を防止する。</p> <p>(7) 衛生器具等は、十分に洗浄を行い、汚水、汚物等による異臭の発生を防止する。</p> <p>(8) 浄化槽、排水槽等の汚水及び汚物は、回収洗浄、消毒等の措置を行い、異臭の発生並びに周囲及び地中への汚染を防止する。</p> <p>(3.2.1)</p> <p>② 解体手順</p> <p>解体手順は、3.2.1の事前措置を行ったのち、建築設備、内装材、外装材、屋根葺材等、躯体、基礎及び杭、構内舗装等、地下埋設物及び埋設配管の順に行う。ただし、解体施工の技術上これにより難い場合は手順を変更し、監督員に報告する。</p> <p>(3.3.1)</p> <p>③ 分別解体</p> <p>○ 電気設備は、7種類に分別解体する。</p> <p>蛍光ランプ及びH Iドラムランプ、小型二次電池、機器類、断熱材、配管類、電線及びケーブル類、その他の電気設備</p> <p>○ 機械設備は、6種類に分別解体する。</p> <p>配管及びダクト、機器類、保温材、浄化槽及びユニットバス、衛生陶器類、その他の機械設備</p> <p>(3.4.1)</p> <p>○ 内装材は、6種類に分別解体する。</p> <p>木材、鋼製建具・アルミニウム製建具・ステンレス製建具等、石膏ボード、A L Cパネル、壁・天井材等の金属下地、その他の内装材</p> <p>(3.5.1)</p> |
|----------------------------|--|

③ 解
体
施
工

- | | |
|---------------|---|
| <div>③</div> | <div>○ 外装材は、8種類に分別解体する。</div> <div>A L C パネル、押出成形セメント板、メタルカーテンウォール、P C カーテンウォール、ガラスカーテンウォール、ガラス、建具、その他の外装材</div> <div>(3. 6. 1)</div> |
| <div>解体</div> | <div>○ 屋根葺材等は、4種類に分別解体する。</div> <div>長尺金属板・折板等、瓦等、屋根葺材等の金属下地等、その他の屋根葺材等</div> <div>(3. 7. 1)</div> |
| <div>体</div> | <div>○ 屋根防水材等は、4種類に分別解体する。</div> <div>防水層保護のコンクリート・レンガ等、断熱材等、アスファルト防水材、その他の防水材等</div> <div>(3. 7. 2)</div> |
| <div>施</div> | <div>○ 躯体は、5種類に分別解体する。</div> <div>コンクリート・鉄筋、鉄骨、木材、その他の構造材</div> <div>(3. 8. 1)</div> |
| <div>工</div> | <div>④ 埋戻、盛土及び整地</div> <div>解体後の埋戻・盛土 ※ A 種 ・ B 種</div> <div>解体後の敷地は、地均し等を行う。</div> <div>(3. 12. 1)</div> |

建設廃棄物の処理

- | | | | |
|----------------------|-------------|--|---------|
| 建設
廃棄
物の
処理 | ① 施工調査 | 建設廃棄物に応じた収集運搬業者、処分業者、中間処理施設、再資源化施設、最終処分場の受入条件等を調査する。 | (4.1.3) |
| | ② 建設廃棄物処理計画 | 建設廃棄物の処理に先立ち、4.1.3の調査に基づき、種類別に具体的な処理計画を定め施工計画書に記載する。また、処理計画では、委託による処理又は自己処理の別を明らかにする。 | (4.1.4) |
| | ③ 工事現場内の保管 | 建設廃棄物の工事現場内の保管に当たっては、周辺の生活環境に影響を及ぼさないようにするとともに、分別した廃棄物の種類ごとに、廃棄物処理法の規定による「産業廃棄物保管基準」に従い保管する。 | (4.2.1) |
| | ④ 再生資源化報告書等 | 特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法による再資源化等完了報告書又は監督員が指示する様式による再生資源利用促進計画書（実施書）を監督員にＣＤで提出する。 | (4.4.3) |

特別管理産業廃棄物の処理

- | | | |
|--------------|----------------------|---|
| 特別管理産業廃棄物の処理 | ① 施工調査 | <p>特別管理産業廃棄物の調査は次による。</p> <p>(1) 特別管理産業廃棄物の使用状況について、設計図書及び目録により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。</p> <p>(2) 特別管理産業廃棄物に応じた、収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件等を調査する。</p> <p>(3) 調査結果は調査に取りまとめ、監督員に提出する。</p> <p>(5.1.2)</p> |
| | ② 特別管理産業廃棄物の処理及び回収計画 | <p>特別管理産業廃棄物の処理に先立ち、種類別具体的な処理計画及び回収計画を定め、施工計画書に記載する。</p> <p>(5.1.3)</p> |
| | ③ 工事現場内の保管 | <p>特別管理産業廃棄物はPCB廃棄物を除き、現場内に保管しない。搬出するまでの間やむを得ず保管する場合は、種類を表示し雨水の掛かりない場所とするなど、廃棄物処理法の規定による「特別管理産業廃棄物保管基準」に従い保管する。</p> <p>(5.2.1)</p> |

⑥ アスベスト含有建材の除去及び処理

- | | | |
|--|------------------------|---|
| 6 | ① 通 用 範 囲 | <p>アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有吹付材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板の取除工事に適用する。</p> <p>(6.2.1)</p> |
| ア
ス
ベ
ス
ト
含
有
建
材
の
除
去
及
び
処
理 | ② 事前調査の結果 | <p>発注者による事前調査の結果 アスベスト含有 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p> <p>解体工事事前調査書等 ※ 7. 事前調査 ・ 別紙のとおり</p> |
| | ③ 施 工 調 査 | <p>(1)アスベスト含有建材の有無の調査は、目視、設計図書等により製品名、製造者名、製造年等を確認することにより行い、調査結果を取りまとめた監督員に提出する。</p> <p>(2)調査の結果、設計図書及び事前調査書等と異なる場合は、監督員と協議する。</p> <p>(6.1.2)</p> |
| | ④ ア ス ベ ス ト
粉 塵 測 定 | <p>アスベスト粉塵濃度の測定方法は、JIS K 3850-1 による。</p> <p>測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <p>アスベスト粉塵測定における計数分析は、第一種作業環境測定士が行うものとする。</p> <p>(6.1.3)</p> |
| | ⑤ 専 門 工 事 業 者 | <p>アスベスト含有建材の除去を直接行う専門事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を、監督員に提出する。</p> <p>(6.2.1)</p> |
| | ⑥ 石 綿 作 業 主 任 者 | <p>アスベスト含有建材の除去にあたっては、石綿障害予防規則に基づき石綿作業主任者を選定する。</p> <p>(6.2.2)</p> |
| | ⑦ 除 去 作 業 者 | <p>アスベスト含有建材の除去に従事する作業者は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。</p> <p>(6.2.3)</p> |
| | ⑧ 施 工 区 画 | <p>アスベスト含有建材の除去に当たっては、直接除去を行う作業区域、セキュリティゾーン、廃棄物保管場所等、除去工事に直接又は間接に関係する箇所の区画を行う。</p> <p>(6.2.4)</p> |

⑥ アスベスト含有

- | | |
|---------------------------|---|
| <p>⑥ 作業場の隔離等</p> | <p>(a) アスベスト含有吹付け材の除去に伴い、アスベストの作業場から外部への飛散防止及び処理を行わないほかの部位の汚染防止のため、隔離シートを用いて隔離する。隔離シートは、壁面に使用するものは厚さ0.08mm以上、床面に使用するものは厚さ0.15mm以上とし、床面については二重で使用する。</p> <p>(b) 隔離した作業場内は、集塵・排気装置を使用し、負圧に保つ。集塵・排気装置は、アスベスト粉塵の大気への飛散を防止するためのHEPAフィルター又はこれと同等以上の性能を有するエアフィルター付の設備とする。</p> <p>(c) 隔離した作業場への出入りによるアスベスト粉塵の二次汚染を防止するため、前室、洗浄室及び更衣室の3室で構成するセキュリティゾーンを設置する。</p> <p>(d) 更衣室には洗眼及びうがいのできる設備を設ける。</p> <p>(e) 洗浄室にはエアーシャワー設備を設ける。</p> <p style="text-align: right;">(6.3.1)</p> |
| <p>⑩ アスベスト含有吹付け材の除去工法</p> | <p>(a) アスベスト含有吹付け材の除去工法は、特記による。</p> <p>除去工法 (・ 工法)</p> <p>封じ込め工法 (工法)</p> <p>(b) 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 (※湿潤化 ・固形化) (6.3.2)</p> |

建材の除去及び処理

- | | | |
|--------------------------------------|----------------------|---|
| 材
の
除
去
及
び
処
理 | 材の除去時の養生等 | シート等を用いて区画し、除去作業を行う施工区画内は、当該作業者以外立入禁止とする。
(6.4.2) |
| | ⑫ アスベスト含有保温材の除去工法 | (a) アスベスト含有保温材の除去工法は、粉塵飛散抑制剤により湿潤化したのちに、原形のまま、手ばらしで行う。
(b) 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 (※湿潤化 ・ 固形化) (6.4.3) |
| | ⑬ アスベスト含有成形板の除去時の養生等 | アスベスト含有保温材等の除去に伴い、アスベストの作業場から場外への飛散防止のため、養生シート等を用いて区画し、除去作業を行う施工区画内は、当該作業者以外立入禁止とする。
(6.5.1) |
| | ⑭ アスベスト含有成形板の除去工法 | (a) アスベスト含有保温材の除去工法は、粉塵飛散抑制剤により湿潤化したのちに、手ばらしで行う。
(b) 除去したアスベスト含有成形板の集積及び積込みに当たっては、高所より投下しないことのほか、粉塵の飛散防止に努める。
(c) 破砕されたアスベスト含有成形板は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れるなど、飛散防止措置を講ずる。
(6.5.2) |

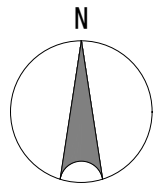
--	--

- | | |
|------------------|---|
| <p>の保管・運搬・処分</p> | <p>一定の保管場所を定め、ほかの建設副産物等と分別して保管するものとし、シートで覆うなど飛散防止措置を講ずる。保管場所には、アスベスト等の保管場所であることの掲示を行う。</p> <p>(b) アスベスト含有吹付け材・成形板等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有吹付け材・成形材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。また、運搬車輛の荷台に覆いを掛けるなど、飛散防止措置を講ずる。</p> <p>(c) 除去したアスベスト含有吹付け材・成形板の処分</p> <p>【アスベスト含有吹付け材等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 埋立処分の場合は、特別監理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ・ 中間処理の場合は、設置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。 <p>【アスベスト含有成形板等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石綿含有石膏ボードは、管理型最終処分場で埋立処分する。 ・ 埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ・ 中間処理の場合は、設置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。 <p>(6.3.3) (6.4.4) (6.5.3)</p> |
|------------------|---|

7 事前調査

- | | | |
|------|-----------|--|
| 事前調査 | ⑦ ① 設計図書 | 設計図書 [<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無] |
| | ② 現地調査の結果 | ①吹付材 [<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]
吹付材の場所 屋 外 [外壁]
吹付材の場所 屋 内 [天井・壁]
吹付材の場所 小屋裏・天井裏 [] |
| | | ②アスベスト（含有も対象）吹付 [<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無] |
| | | ③アスベスト保温材・断熱材 [<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無] |
| | | ④アスベスト含有の判別方法 <input type="radio"/> 分析調査での判定 ・ <input type="radio"/> 設計図書での判定 ・ <input type="radio"/> その他 |

<div><div><div>Alpha Court co.,Ltd</div><div>アルファコート株式会社</div><div>一級建築士事務所登録(石)第5189号</div></div></div>	<div>設計担当</div> <div>一級建築士 第339203号 館本 和法</div>	<div>図面名称</div> <div>解体工事特記仕様書</div>	<div>縮尺</div>	<div>共 通</div>
				<div>/01</div>



当該敷地：北見市北3条西1丁目6番1

附近見取図

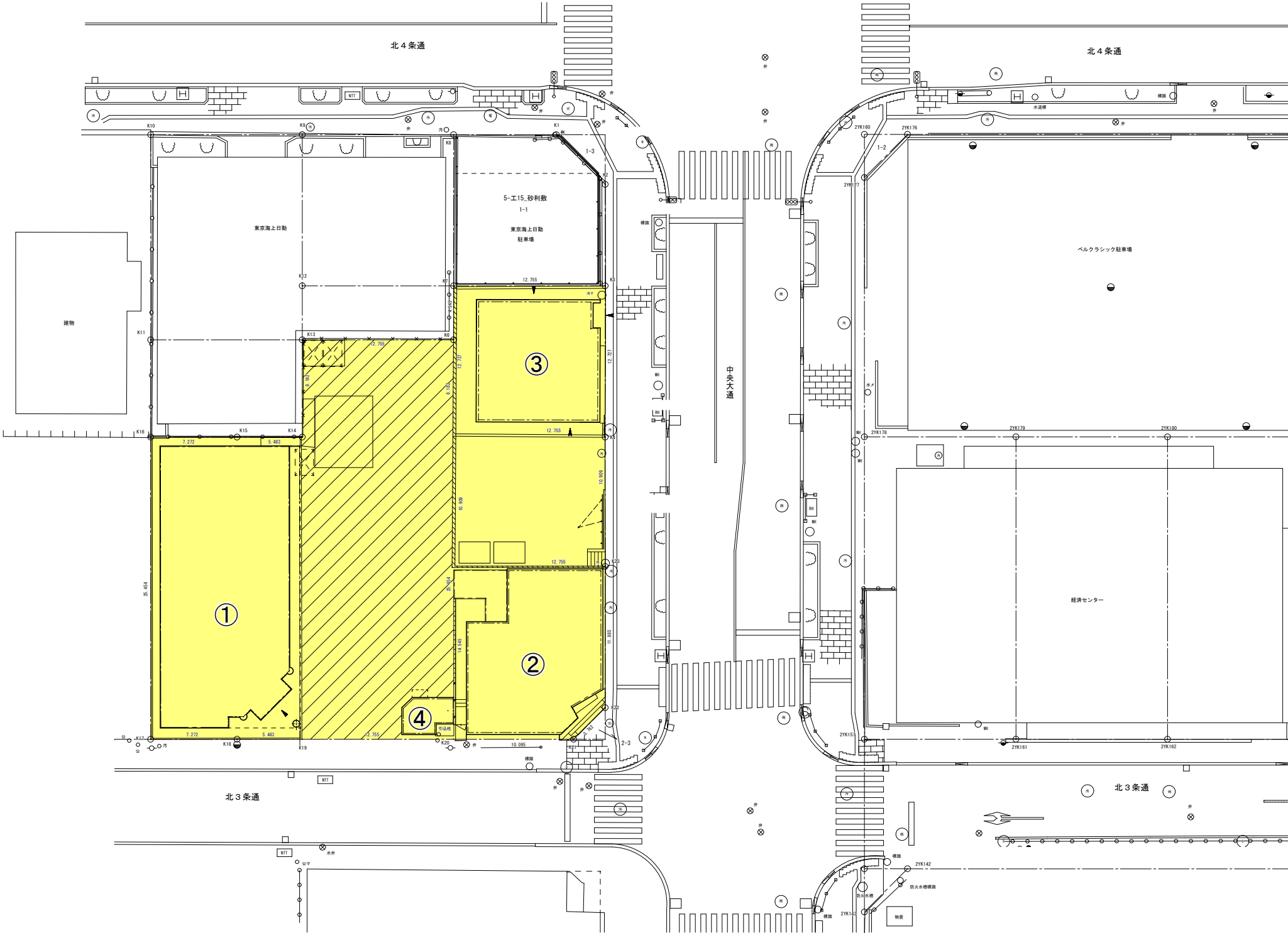
建物解体リスト

解体番号	構 造・用 途	階 数	延床面積	区 分
①店舗兼事務所	S 造 店舗・事務所	3 階/	571.26㎡	非木造建物
②事務所	S R C造 事務所	2 階/	264.88㎡	非木造建物
③旧 店舗	レンガ積造 店舗	1 階/	95.99㎡	非木造建物
③旧 事務所	W 造 事務所	2 階/	51.28㎡	木造建物
④物置	W 造 物置	1 階/	10.44㎡	木造建物

特記事項

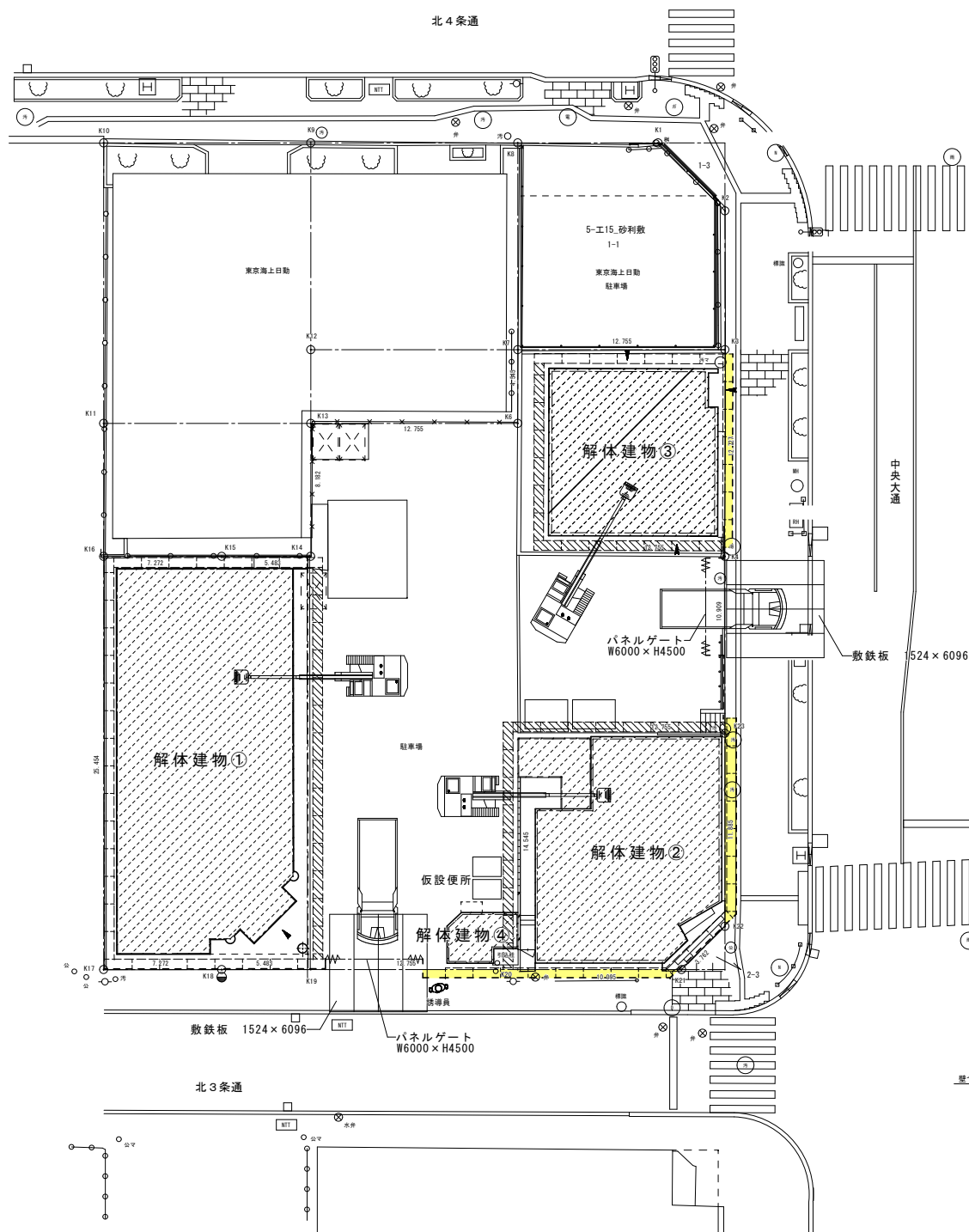
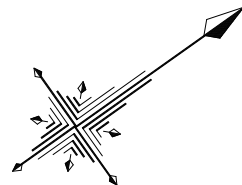
- ・地階については山留壁を設置し地下躯体解体後に山留壁を撤去する。
- ・地下周囲に既存山留が存置している可能性がある。（協議により存置）
- ・地下湧水槽部分に溜まっている水は排水処理する。
- ・新築建物予定範囲の埋め戻しは各設計 G L-500程度までとする。（監督員との協議による）

解体工事範囲



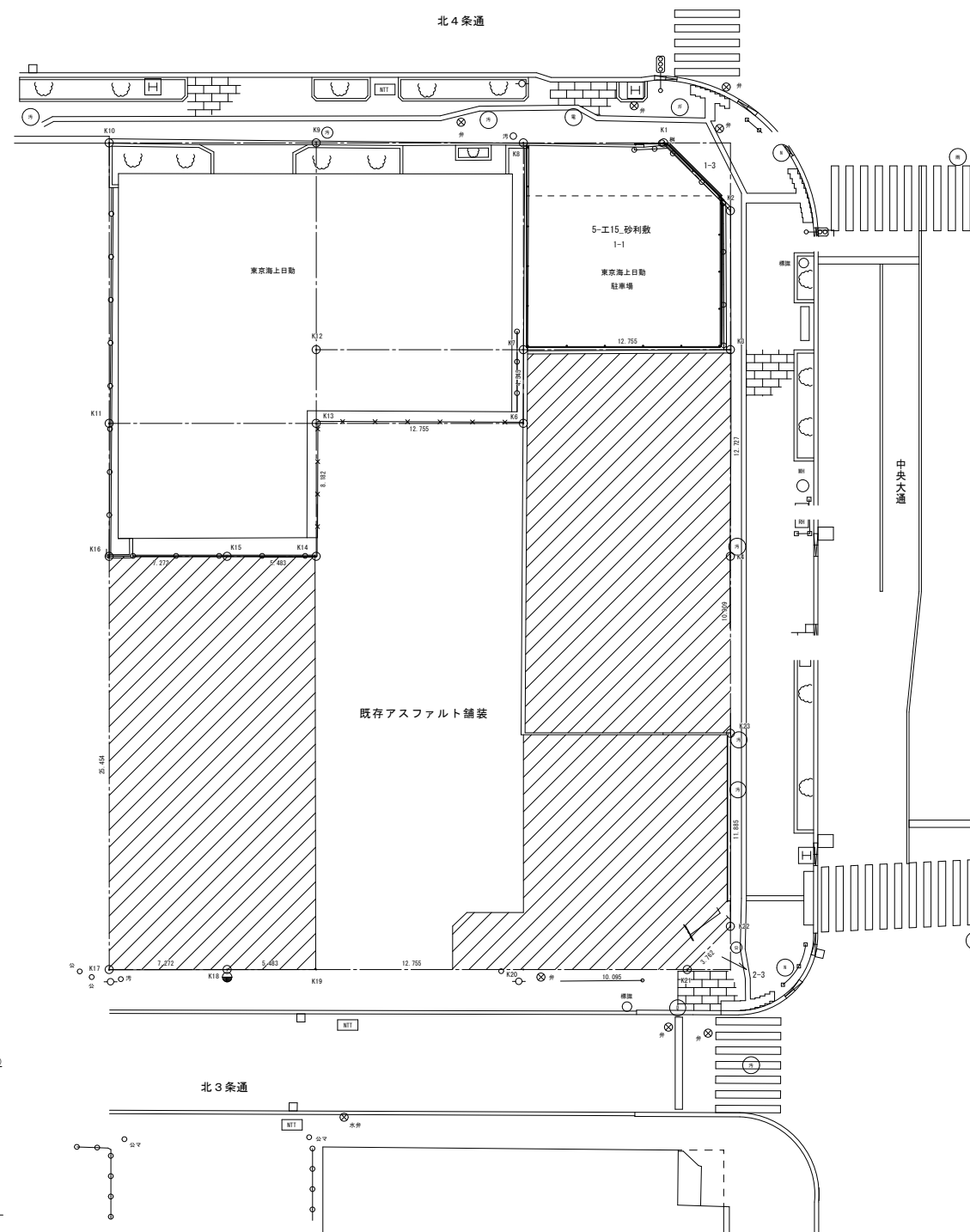
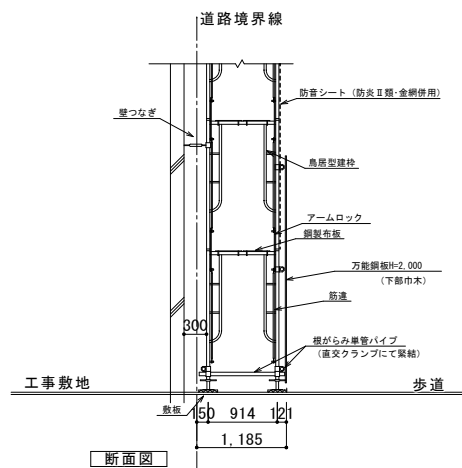
アスファルト舗装存置部分

コンクリート擁壁存置部分



- 道路使用占有部分 (22.0㎡)
- 解体工事前用枠組足場 (2か月)
- 外壁塗装除去用枠組足場 (1か月)
- 仮囲い (万能鋼板 H=2000)

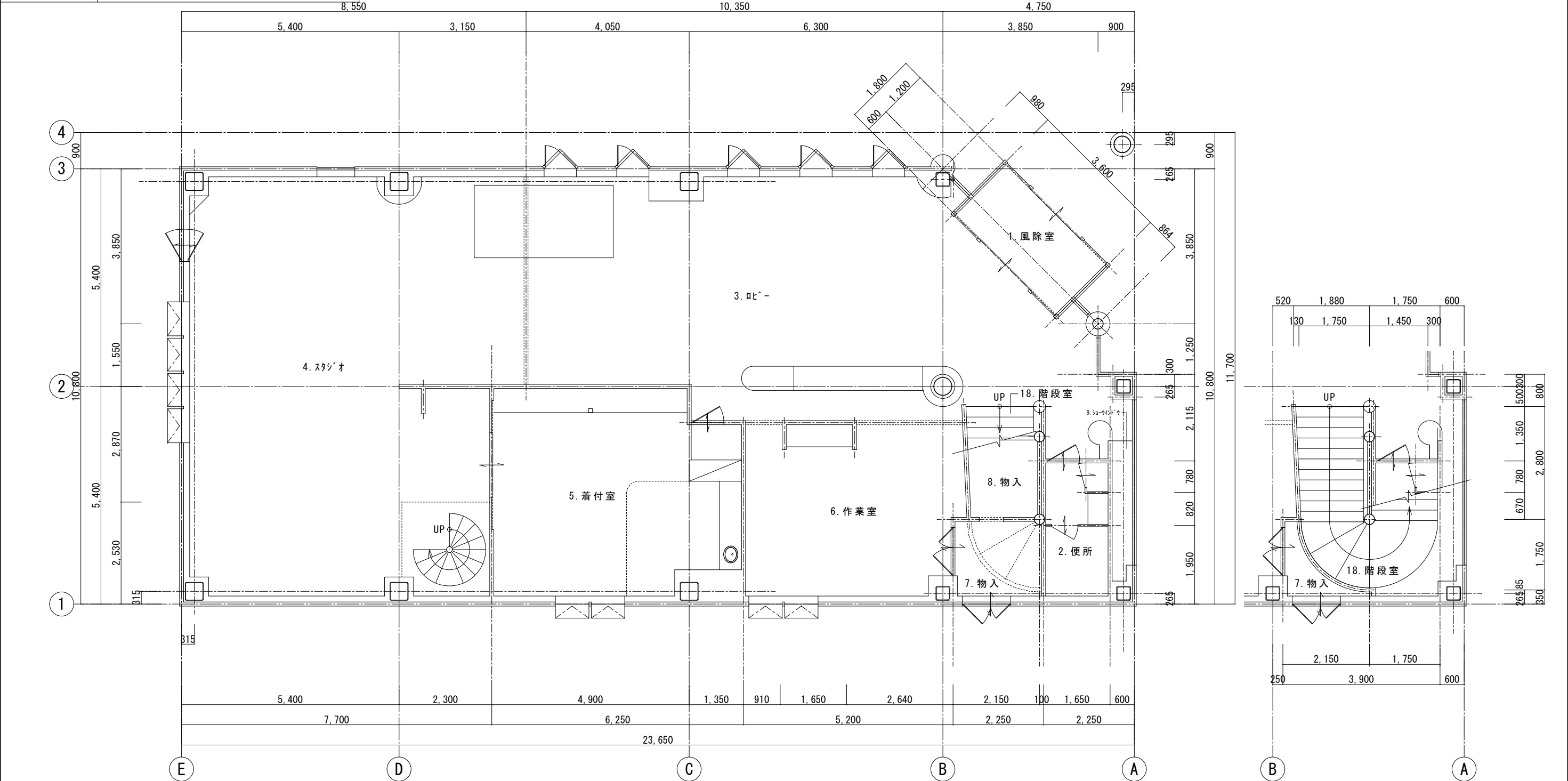
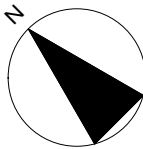
仮設計画図



駐車場整備図

砂利敷 厚500

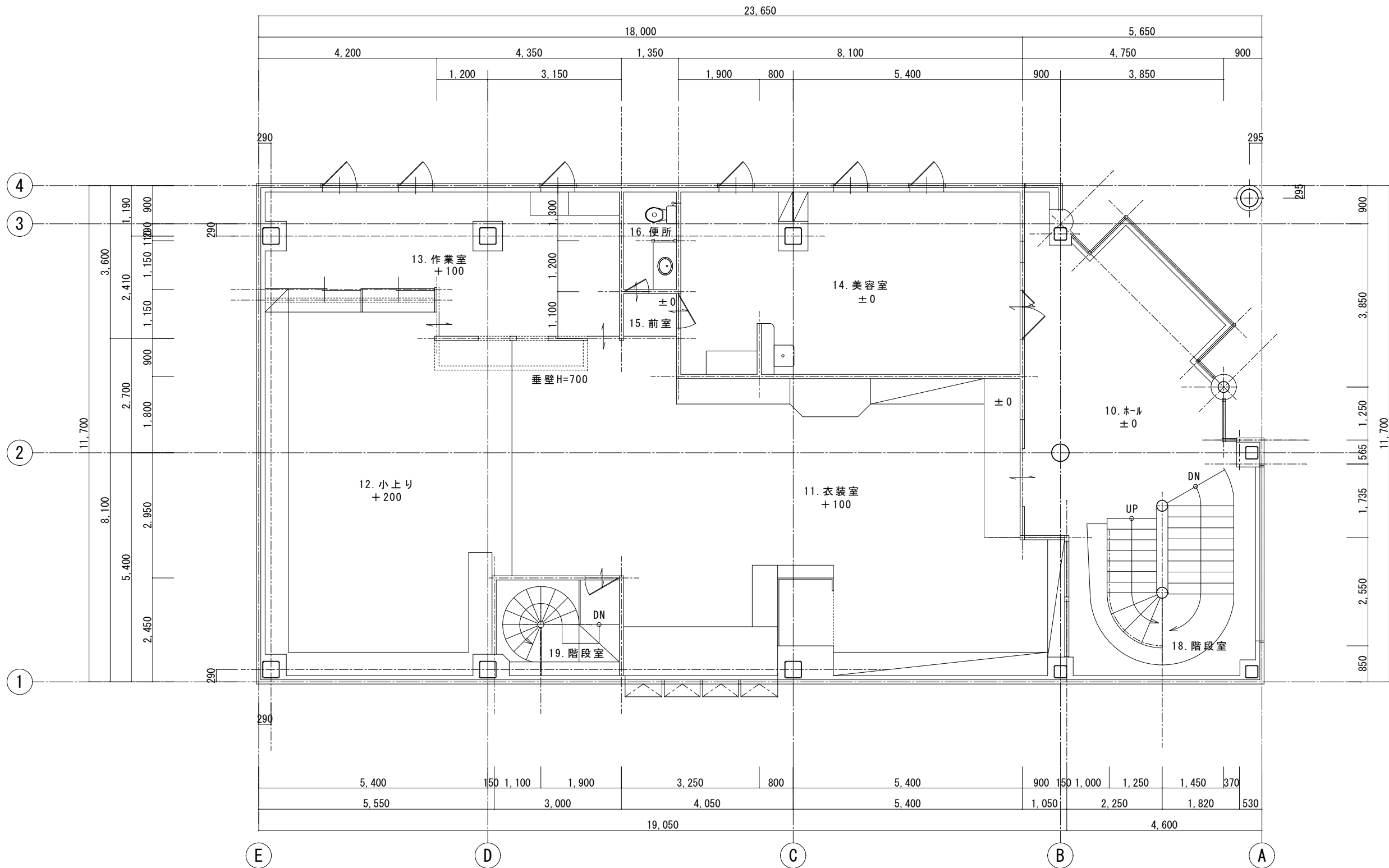
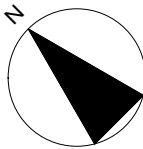
所在地	北見市北三条西一丁目 6番地1、6番地2
所有者住所	北見市北三条西一丁目 6番地1
所有者	
構造概要	
構造	鉄骨造3階建
用途	店舗(スタジオ)兼事務所
基礎	布コンクリート基礎
屋根	アスファルト防水(密着工法)
外壁	ALC板張(厚100mm)／リシン吹付



1 階平面図 1/100

図面名称	1 階平面図	縮尺	1/100
調査年月日	令和 4 年 4 月 26 日		

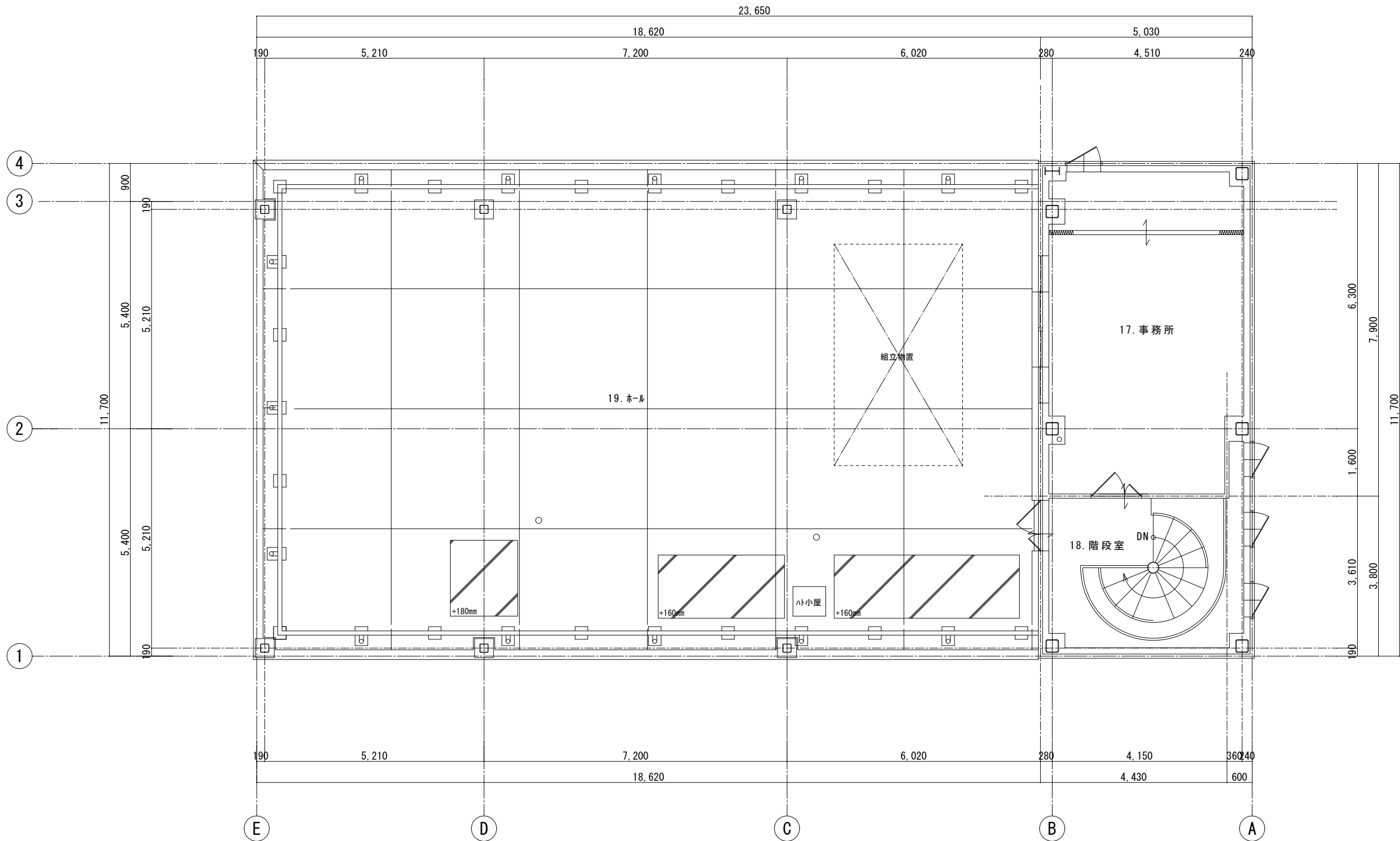
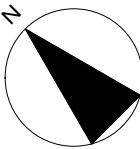
所在地	北見市北三条西一丁目 6番地1、6番地2
所有者住所	北見市北三条西一丁目 6番地1
所有者	



2 階平面図 1/100

図面名称	2 階平面図	縮尺	1/100
調査年月日	令和 4年 4月 26日		

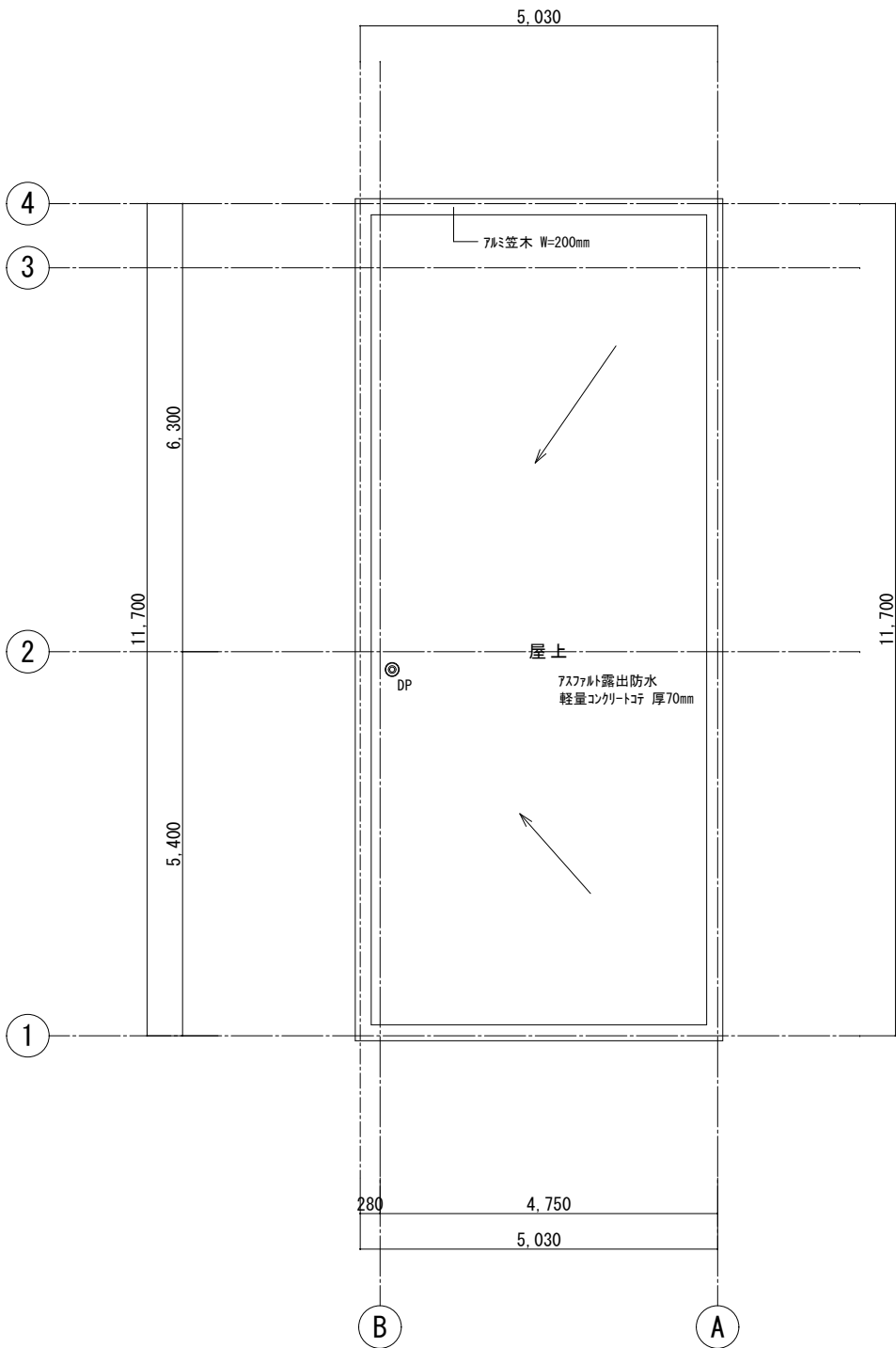
所在地	北見市北三条西一丁目 6番地1、6番地2
所有者住所	北見市北三条西一丁目 6番地1
所有者	



3 階平面図 1/100

図面名称	3 階平面図	縮尺	1/100
調査年月日	令和 4年 4月 26日		

所 在 地	北見市北三条西一丁目 6番地1、6番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目 6番地1
所 有 者	

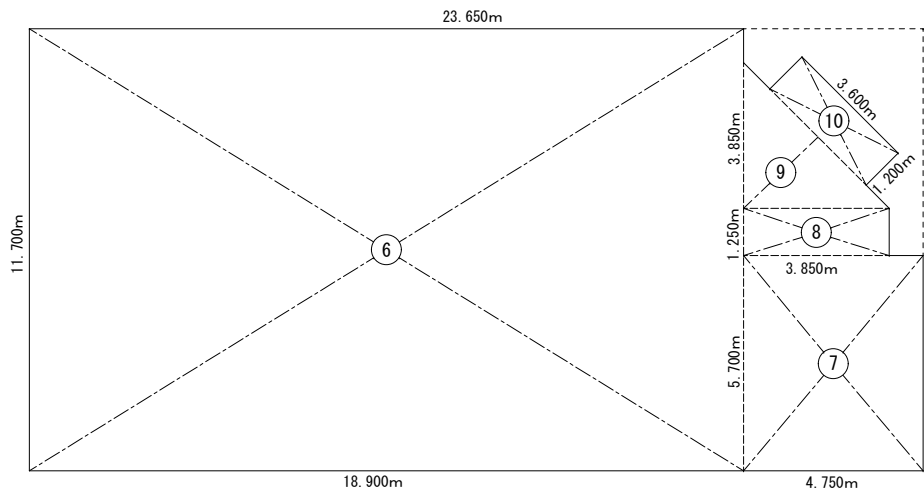


求 積 表			
階層	番号	計算式	数量 <㎡>
1 階	1	18.900 × 10.800	204.1200
	2	4.750 × 5.700	27.0750
	3	3.850 × 1.250	4.8125
	4	3.850 × 3.850 / 2	7.4112
	5	3.600 × 1.200	4.3200
1 階床面積			247.73
2 階	6	18.900 × 11.700	221.1300
	7	4.750 × 5.700	27.0750
	8	3.850 × 1.250	4.8125
	9	3.850 × 3.850 / 2	7.4112
	10	3.600 × 1.200	4.3200
2 階床面積			264.74
3 階	11	5.030 × 11.700	58.8510
3 階床面積			58.85
延床面積			571.32

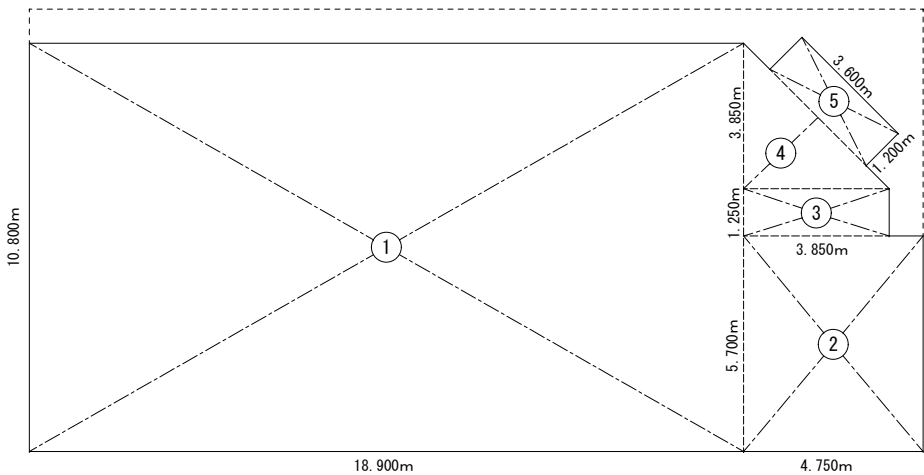
建築面積表		
番号	計算式	数量 <㎡>
	23.650 × 11.700	276.7050
計		276.70



3 階 求積図 S=1/200

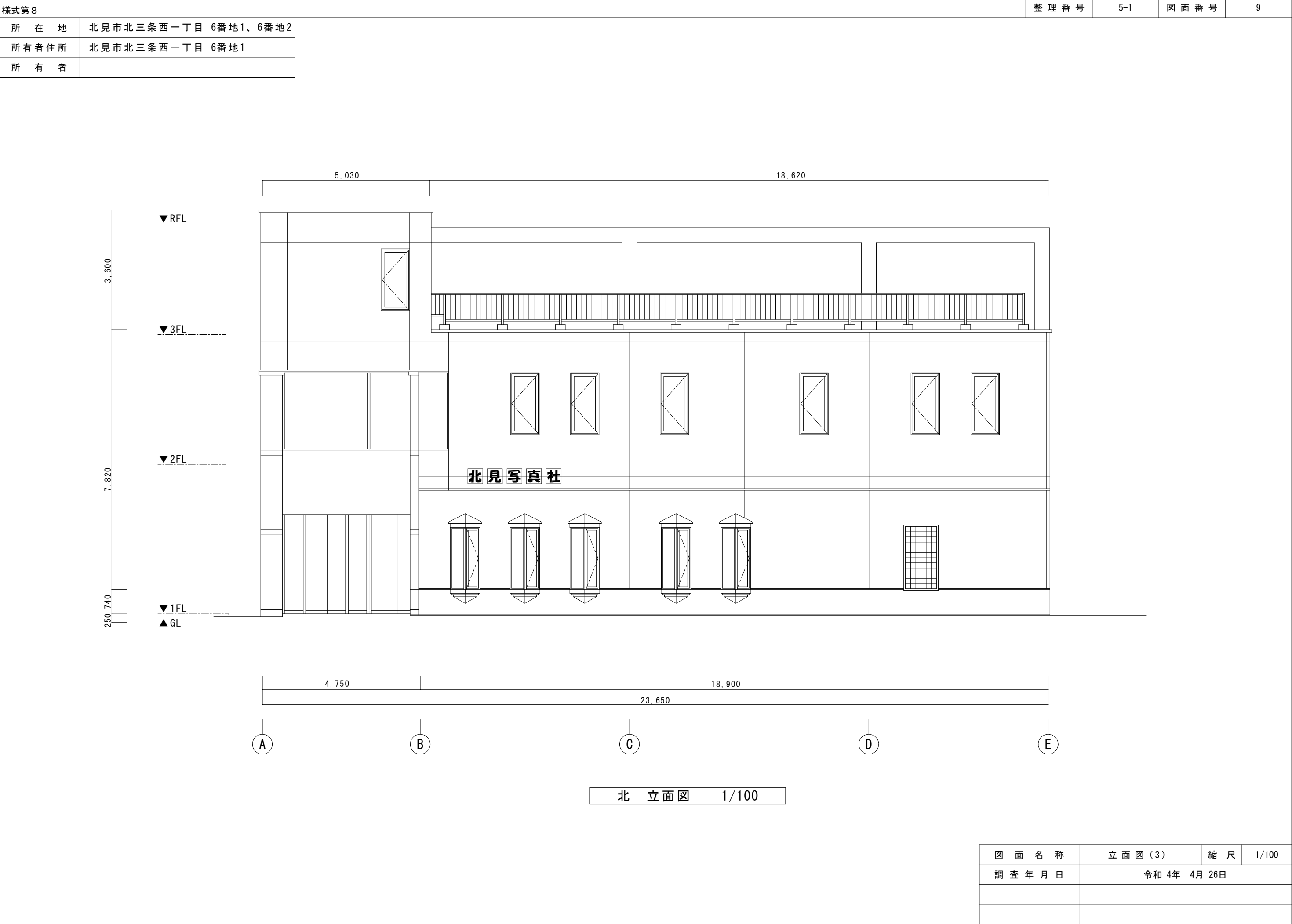


2 階 求積図 S=1/200



1 階 求積図 S=1/200

図 面 名 称	屋根平面図・求積表	縮 尺	1/200
調 査 年 月 日	令和 4 年 4 月 26 日		



The figure contains two architectural elevation drawings of a building facade, labeled '西 立面图' (West Elevation) and '東 立面图' (East Elevation). Both drawings include vertical and horizontal dimensions and level markers.

西 立面图 (West Elevation):

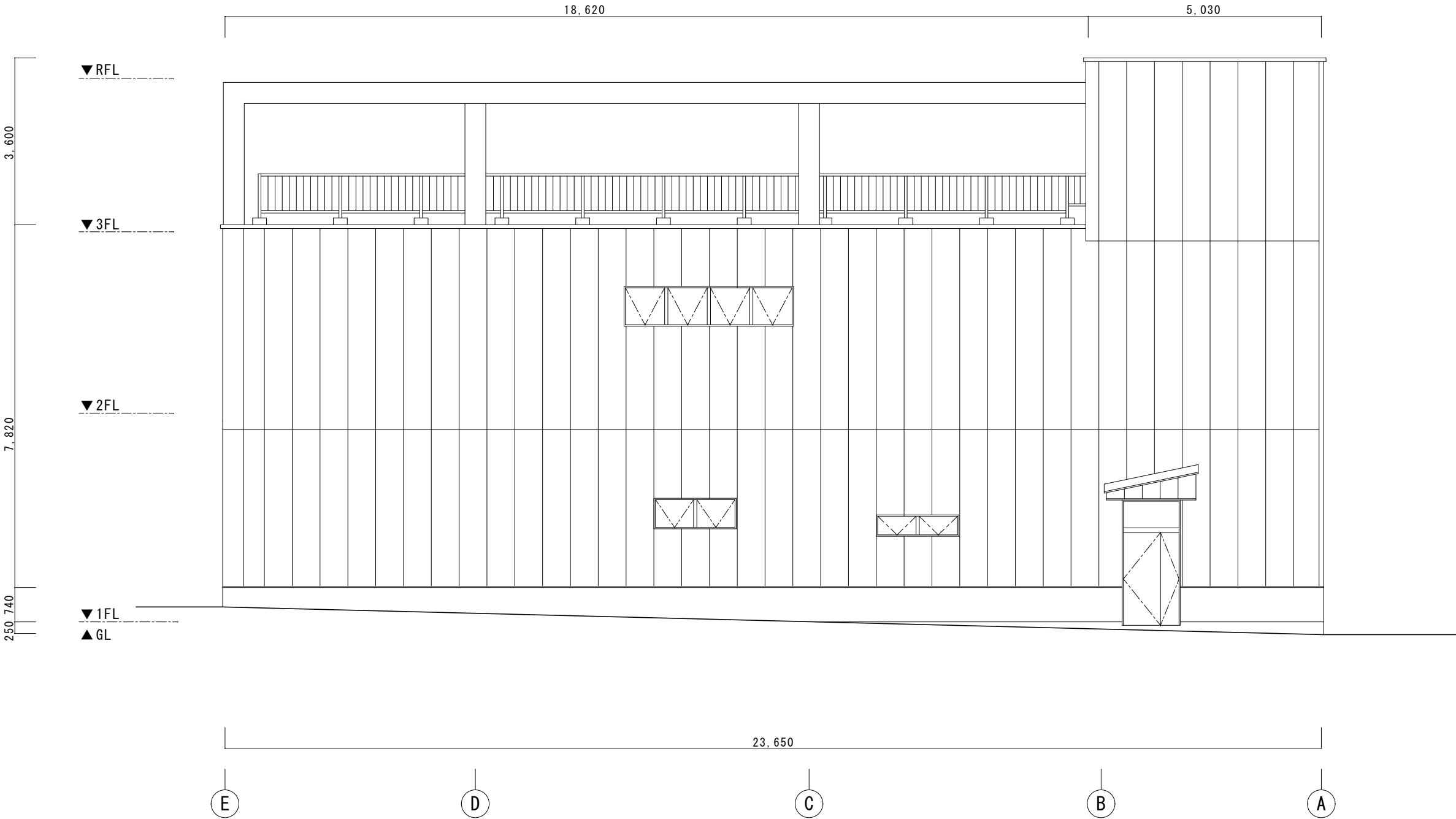
- Vertical Dimensions:** 3,600 (from 1FL to RFL), 7,820 (from GL to 3FL), 250, 740 (from GL to 1FL).
- Horizontal Dimensions:** 900 (from grid 4 to 3), 10,800 (from grid 3 to 1), 11,700 (total width from grid 4 to 1).
- Grid Lines:** 4, 3, 2, 1 (from left to right).
- Level Markers:** ▼ RFL (Roof Level), ▼ 3FL (Third Floor Level), ▼ 2FL (Second Floor Level), ▼ 1FL (First Floor Level), ▲ GL (Ground Level).
- Features:** A central entrance on the ground floor, a balcony on the second floor, and a roof structure with a central gabled section.

東 立面图 (East Elevation):

- Vertical Dimensions:** 3,600 (from 1FL to RFL), 7,820 (from GL to 3FL), 250, 740 (from GL to 1FL).
- Horizontal Dimensions:** 10,800 (from grid 1 to 3), 900 (from grid 3 to 4), 11,700 (total width from grid 1 to 4).
- Grid Lines:** 1, 2, 3, 4 (from left to right).
- Level Markers:** ▼ RFL (Roof Level), ▼ 3FL (Third Floor Level), ▼ 2FL (Second Floor Level), ▼ 1FL (First Floor Level), ▲ GL (Ground Level).
- Features:** A large window on the second floor, a balcony on the third floor, and a sign reading '北見写真社' (Kitaami Photo Studio) on the first floor.

図 面 名 称	立 面 図 (1)	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日	令和 4年 4月 26日		

所 在 地	北見市北三条西一丁目 6番地1、6番地2
所有者住所	北見市北三条西一丁目 6番地1
所 有 者	

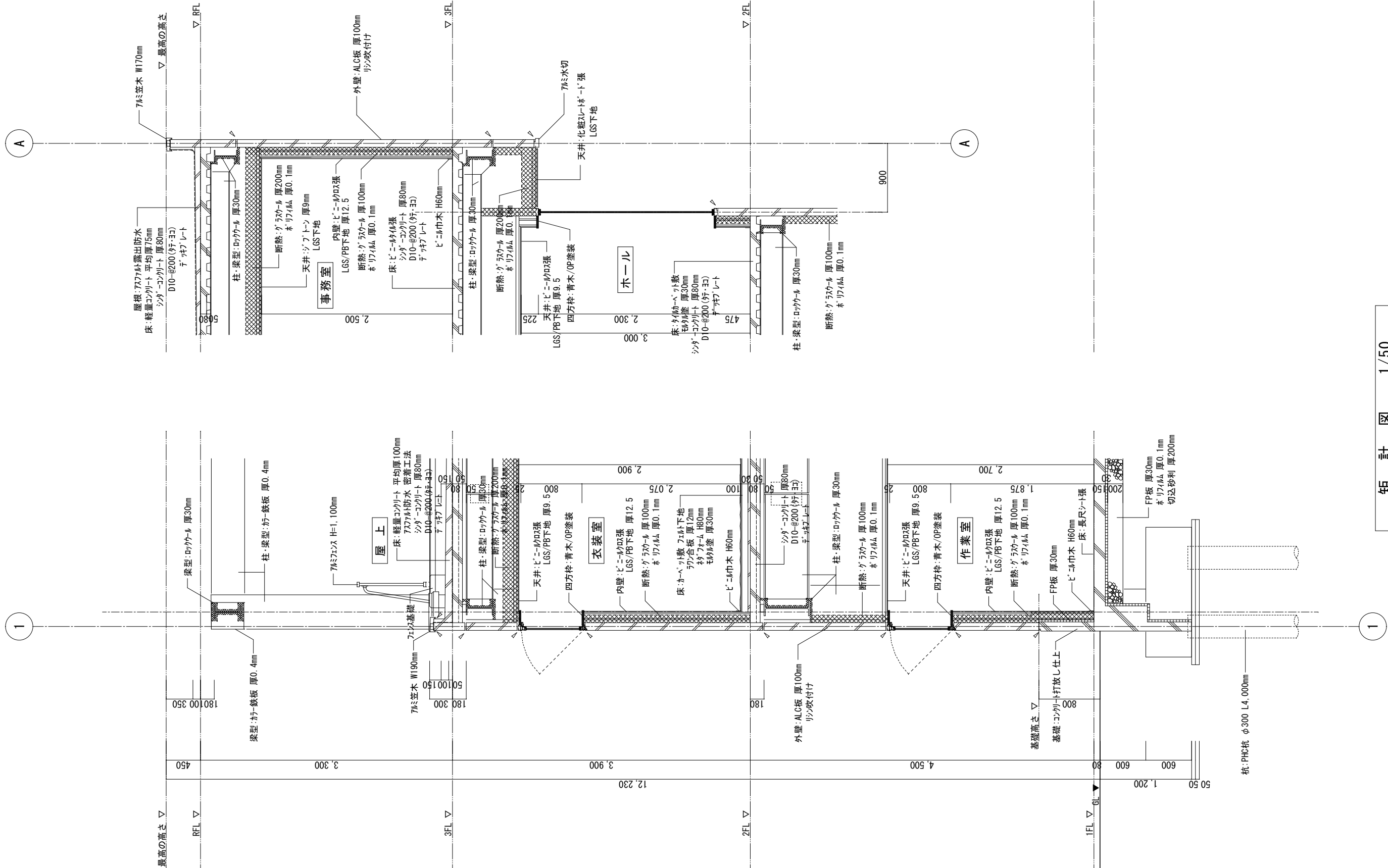


南 立面図 1/100

図 面 名 称	立面図 (2)	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日	令和 4年 4月 26日		

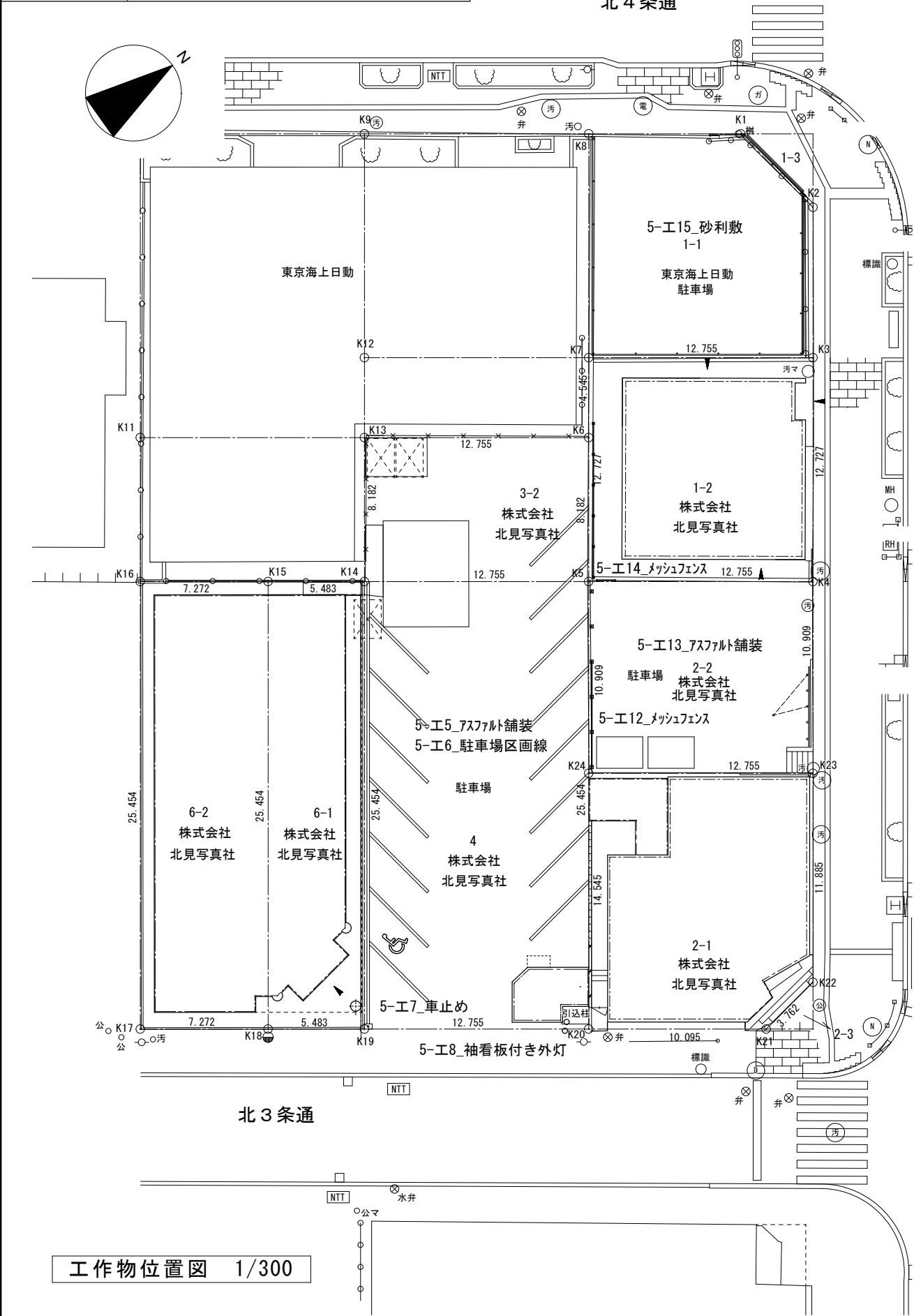
所在地	北見市北三条西一丁目 6番地1、6番地2
所有者住所	北見市北三条西一丁目 6番地1
所有者	

整理番号	5-1	図面番号	10
------	-----	------	----

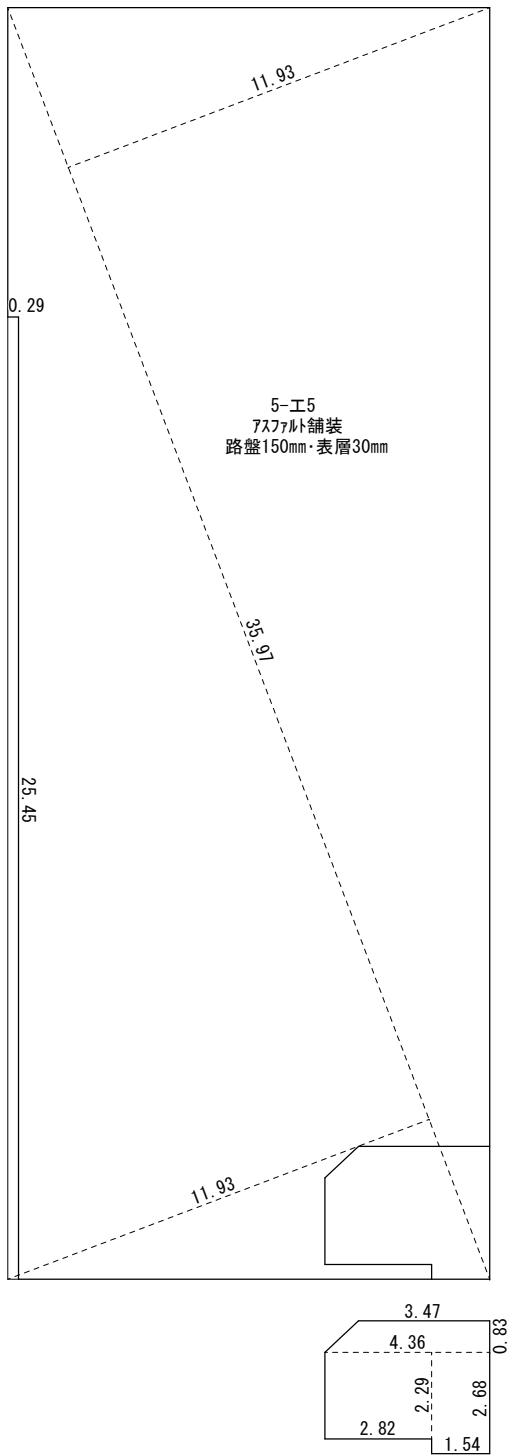


図面名称	矩計図	縮尺	1/50
調査年月日	令和 4年 4月 26日		

所在地	北見市北三条西一丁目1-1, 2-1, 2-2, 3-2, 4, 6-1, 6-2
所有者住所	北見市北三条西一丁目6番地1
所有者	

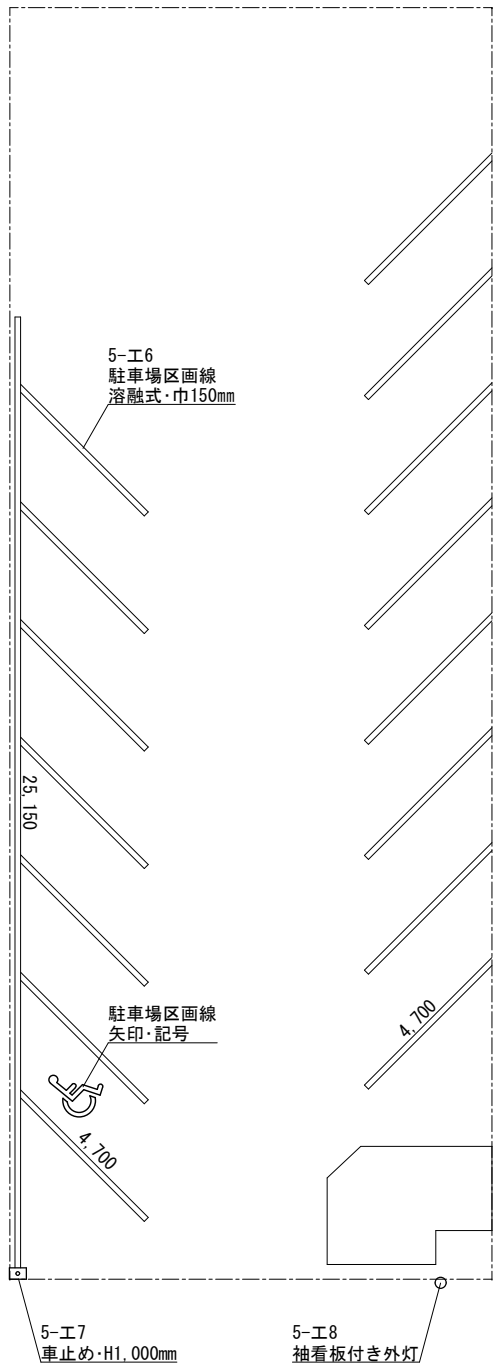


工作物位置図 1/300



工5 求積図 1/200

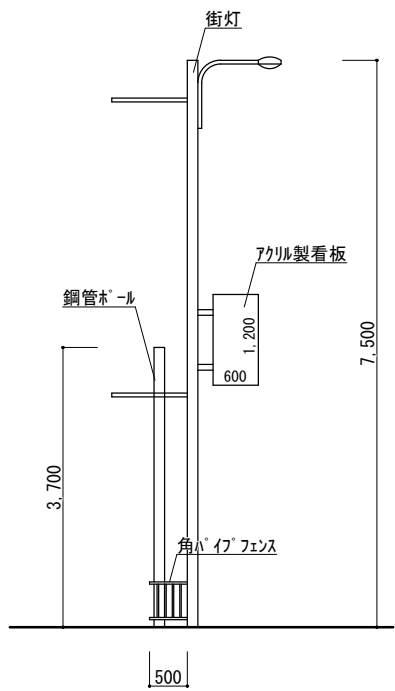
5-工5 アスファルト舗装		
番号	計算式	数量 <m³>
1	$35.97 \times 11.93 \times 0.5$	214.561
2	$35.97 \times 11.93 \times 0.5$	214.561
3	$25.45 \times 0.29 \times -1$	-7.380
4	$(3.47 + 4.36) \times 0.83 \times 0.5 \times -1$	-3.249
5	$2.68 \times 1.54 \times -1$	-4.127
6	$2.29 \times 2.82 \times -1$	-6.457
計		407.909
施工面積		407.91



工6 駐車場面線 1/200

工7 車止め 1/200

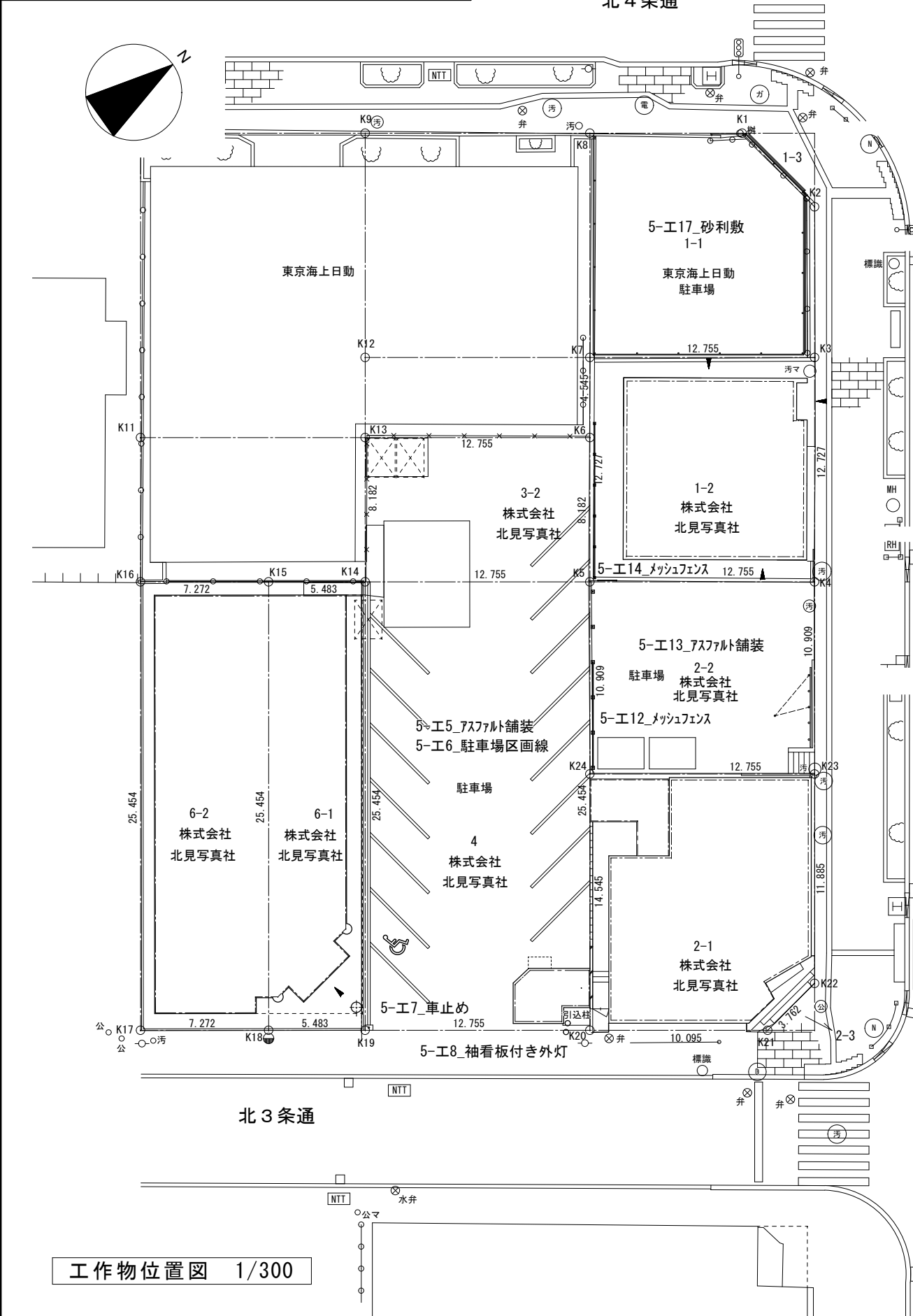
工7 袖看板付き外灯 1/200



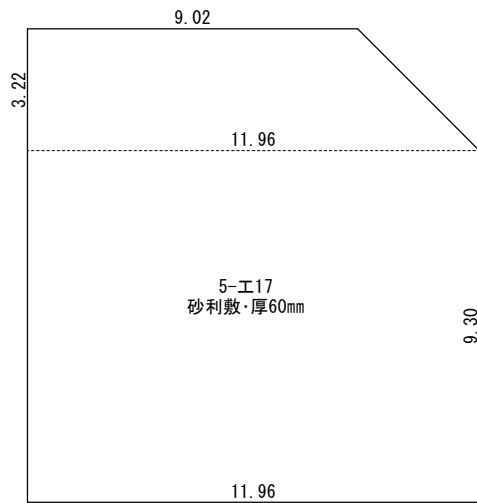
工7 袖看板付き外灯 1/100

図面名称	工作物位置図・詳細図	縮尺	1/300 1/200 1/100
調査年月日	令和4年4月26日		
	横田 貴史		

所在地	北見市北三条西一丁目1-1,-2,2-1,-2,3-2,4,6-1,6-2
所有者住所	北見市北三条西一丁目6番地1
所有者	

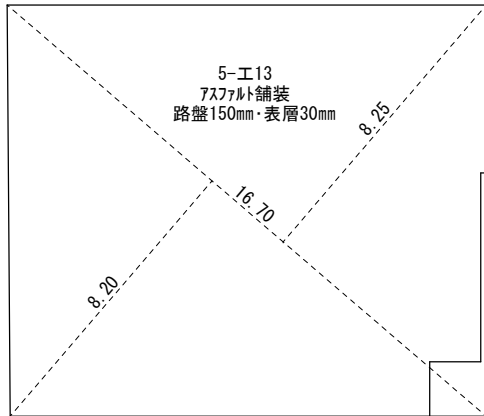


工作物位置図 1/300



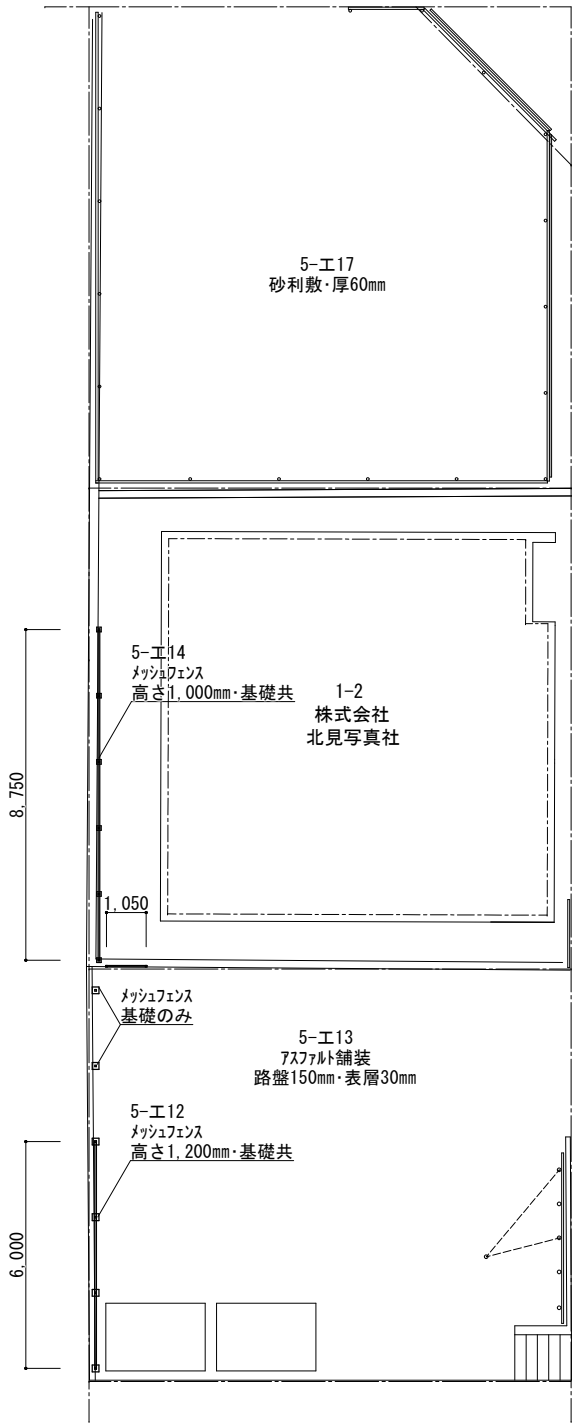
工17 求積図 1/200

5-工17 砂利敷		
番号	計算式	数量 <m²>
1	$(9.02 + 11.96) \times 3.22 \times 0.5$	33.782
2	9.30×11.96	111.228
計		145.010
施工面積		145.01



工13 求積図 1/200

5-工13 アスファルト舗装		
番号	計算式	数量 <m²>
1	$16.70 \times 8.25 \times 0.5$	68.887
2	$16.70 \times 8.20 \times 0.5$	68.470
3	$4.99 \times 0.14 \times -1$	-0.698
4	$1.44 \times 1.49 \times -1$	-2.145
計		134.514
施工面積		134.51

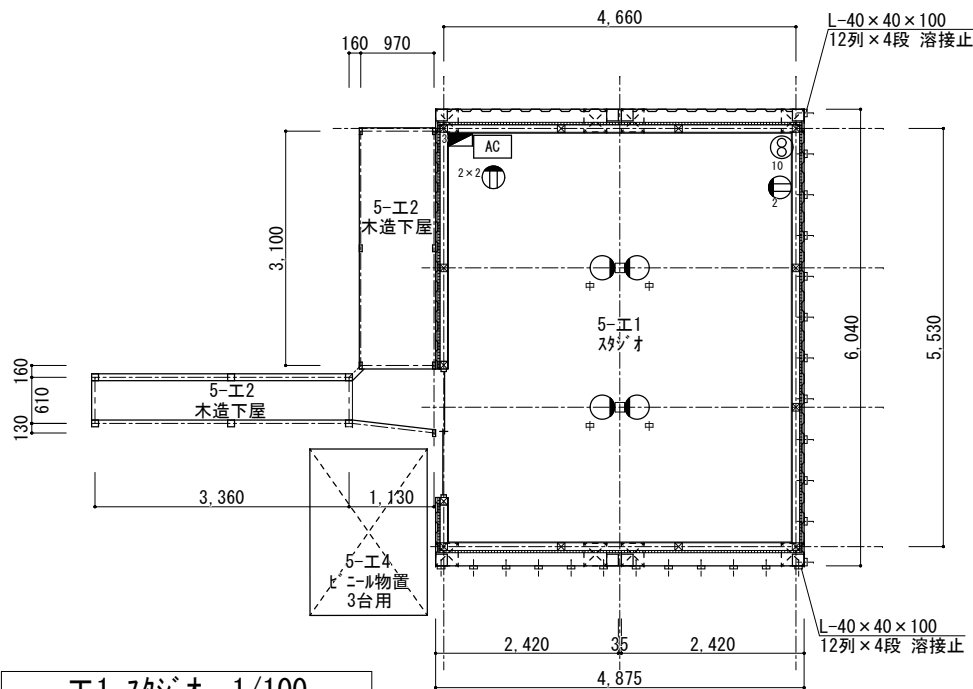
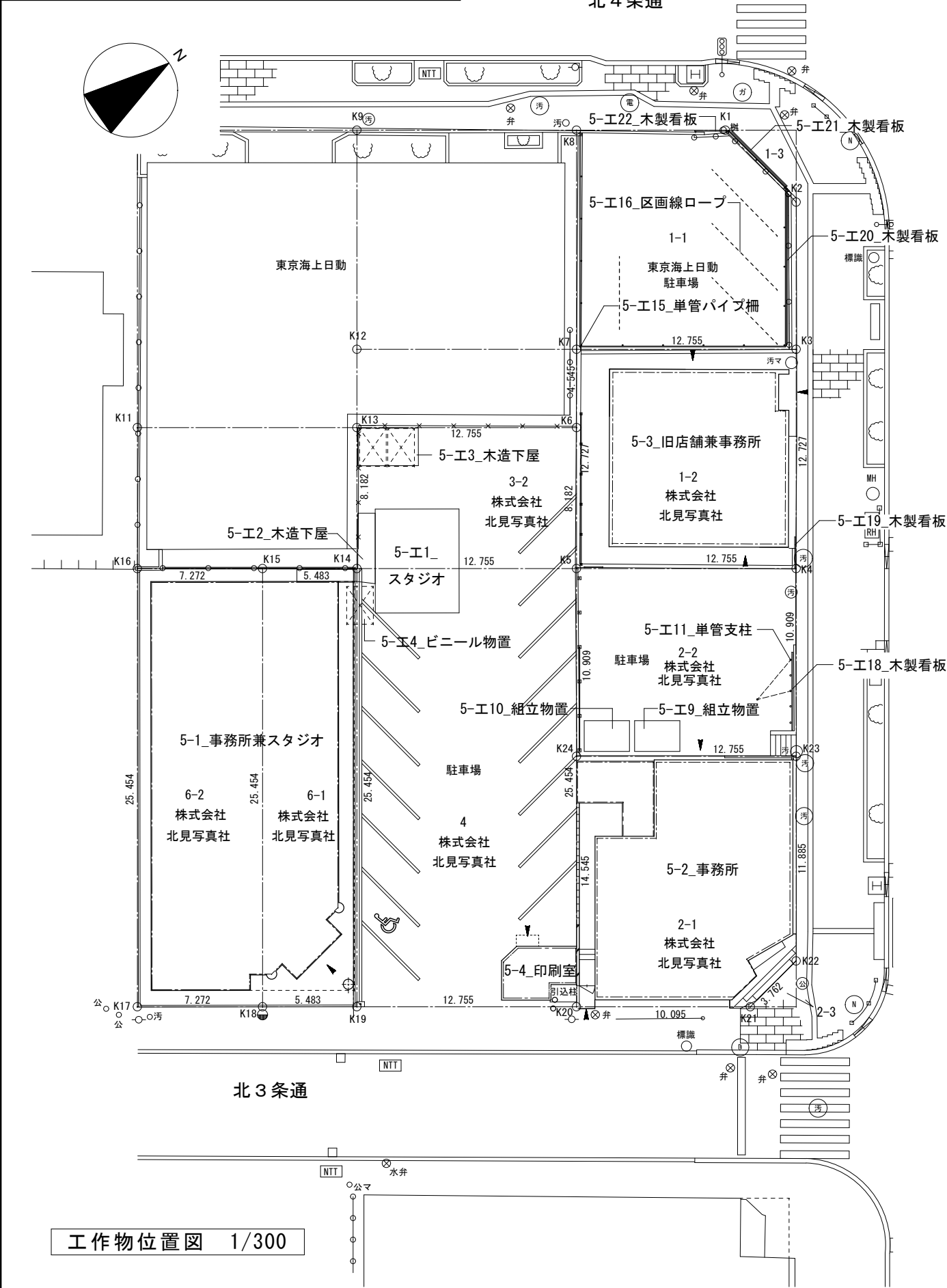


工12 メッシュフェンス 1/200

工14 メッシュフェンス 1/200

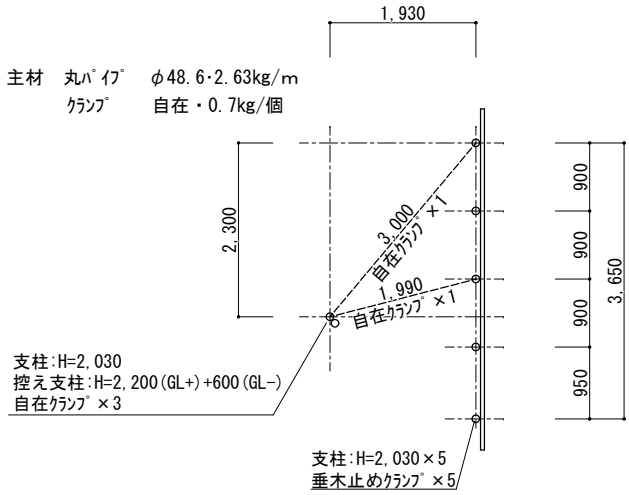
図面名称	工作物位置図・詳細図	縮尺	1/300 1/200
調査年月日	令和4年4月26日		

所在地	北見市北三条西一丁目1-1,-2,2-1,-2,3-2,4,6-1,6-2
所有者住所	北見市北三条西一丁目6番地1
所有者	

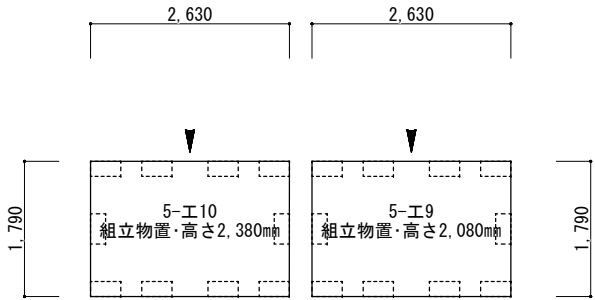


エ1 スタジオ 1/100
エ2 木造下屋 1/100
エ4 ビニール物置 1/100

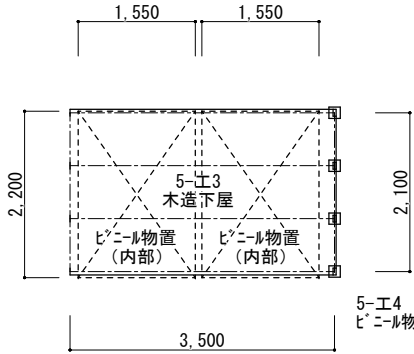
本体: 連結・W2,420×H2,590×L6,040
基礎: 平板敷300×300×60×8ヶ所



エ11 単管支柱 1/100



エ9・10 組立物置 1/100



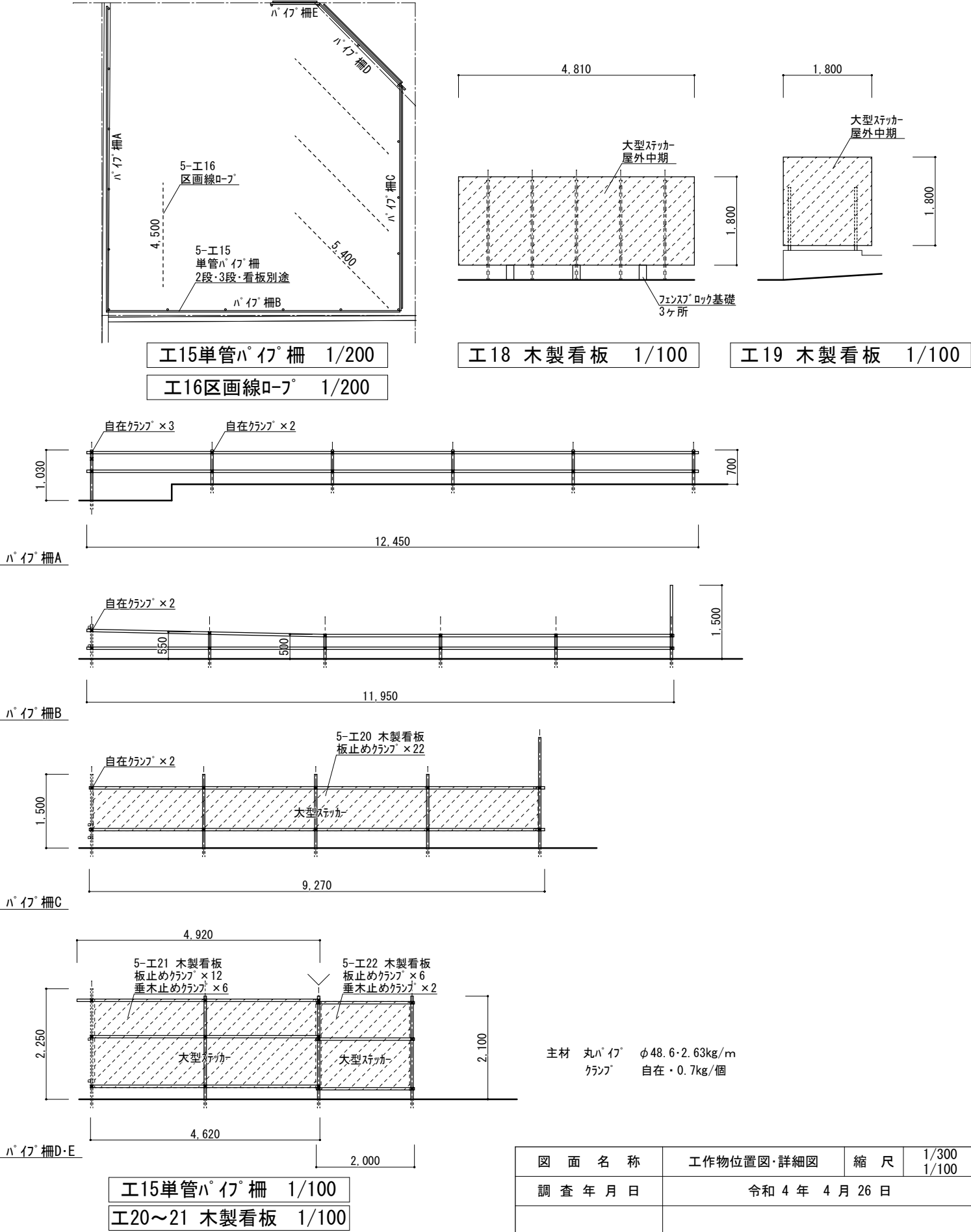
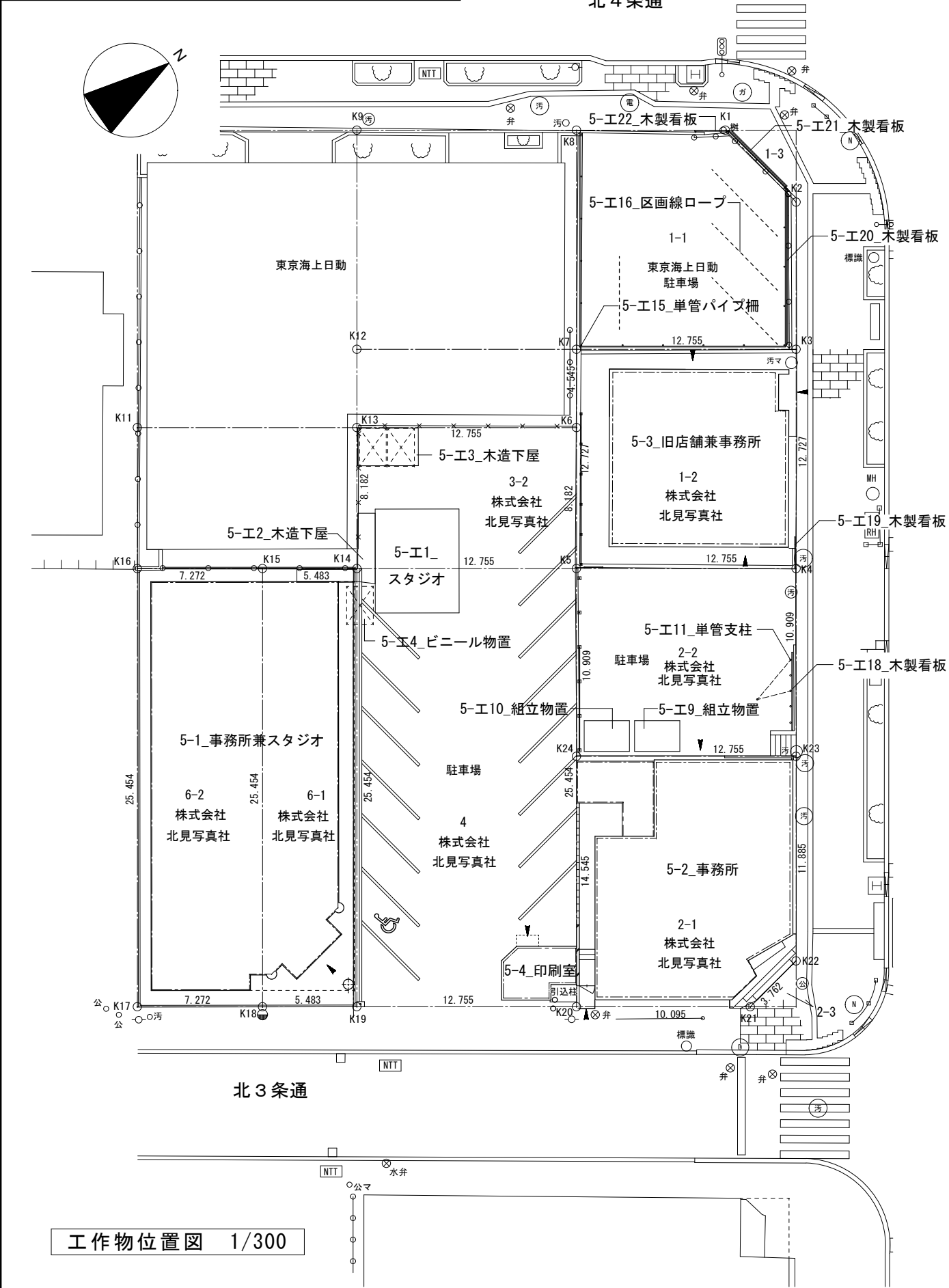
エ3 木造下屋 1/100

エ4 ビニール物置 1/100

工作物位置図 1/300

図面名称	工作物位置図・詳細図	縮尺	1/300 1/100
調査年月日	令和4年4月26日		

所在地	北見市北三条西一丁目1-1,-2,2-1,-2,3-2,4,6-1,6-2
所有者住所	北見市北三条西一丁目6番地1
所有者	



The figure consists of three vertically stacked diagrams, each representing a stage in the construction of a traditional Japanese roof structure (Yatai). Each diagram includes dimensions and numbered components.

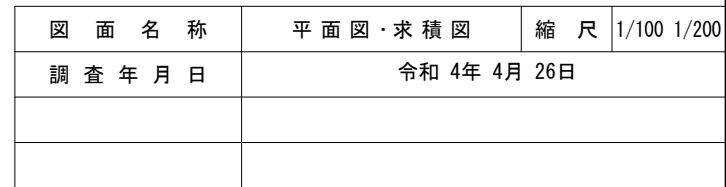
Diagram 1 (Bottom): Shows the base structure with dimensions 9,210 (width), 3,430 (height), and 13,630 (length). It includes a small triangle with dimensions 3,500 (height) and 1,820 (width). The components are numbered 1, 2, 3, and 4.

Diagram 2 (Middle): Shows the structure with an additional section added, increasing the width to 9,980 and the height to 4,270. The components are numbered 5, 6, 7, and 8.

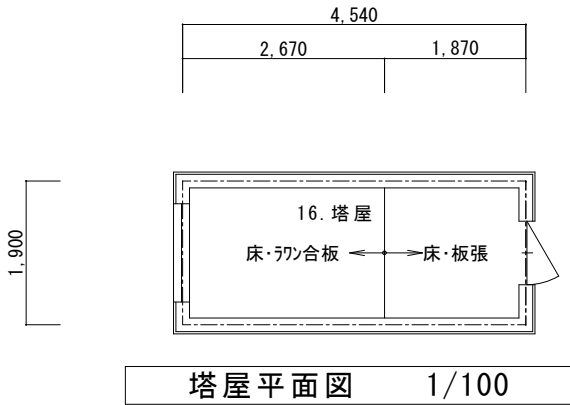
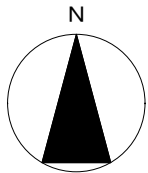
Diagram 3 (Top): Shows the final structure with dimensions 9,980 (width), 4,540 (height), and 1,900 (width). The component is numbered 9.

Labels: Each diagram is labeled with its stage number and the formula for the area (S):

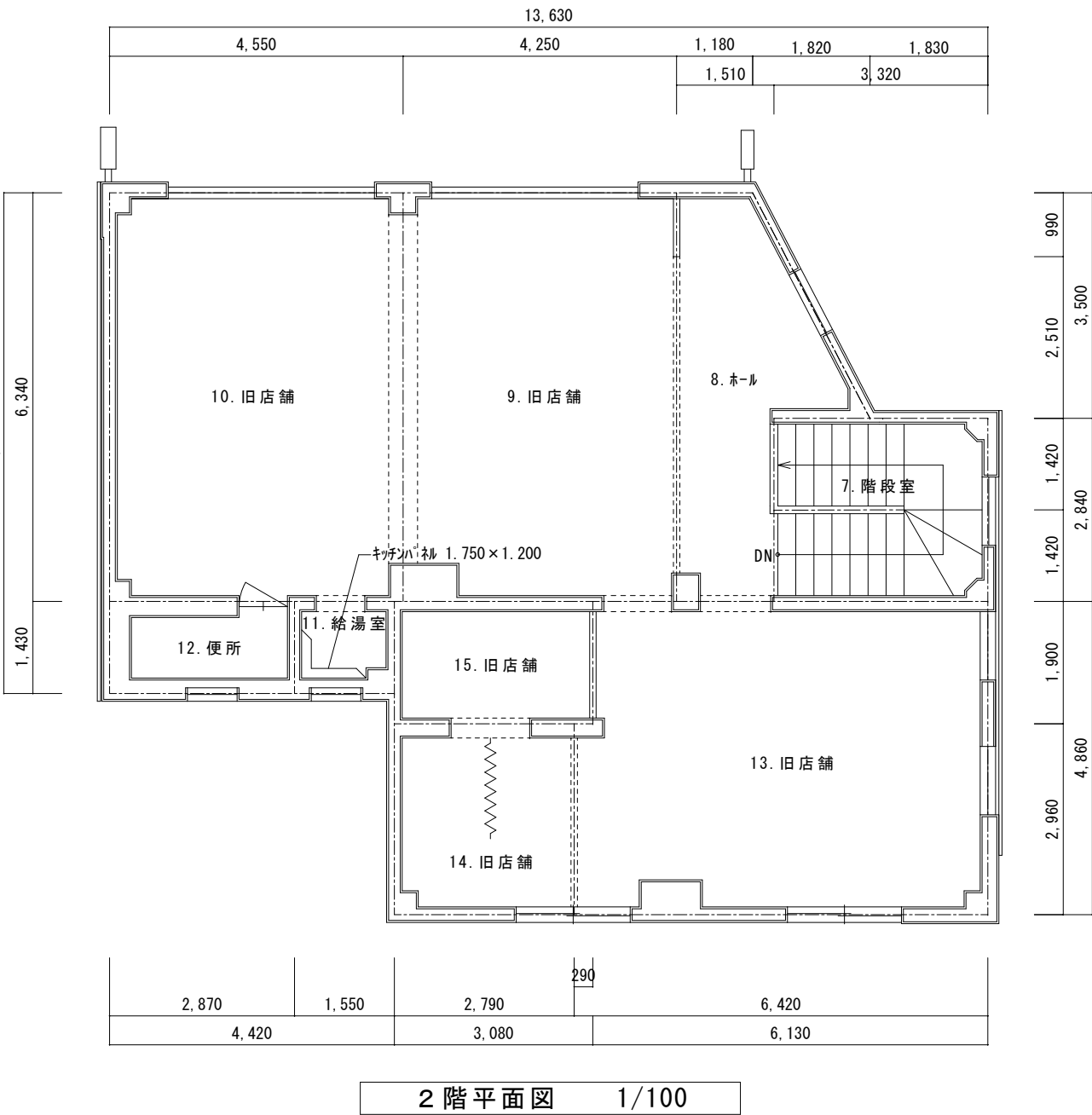
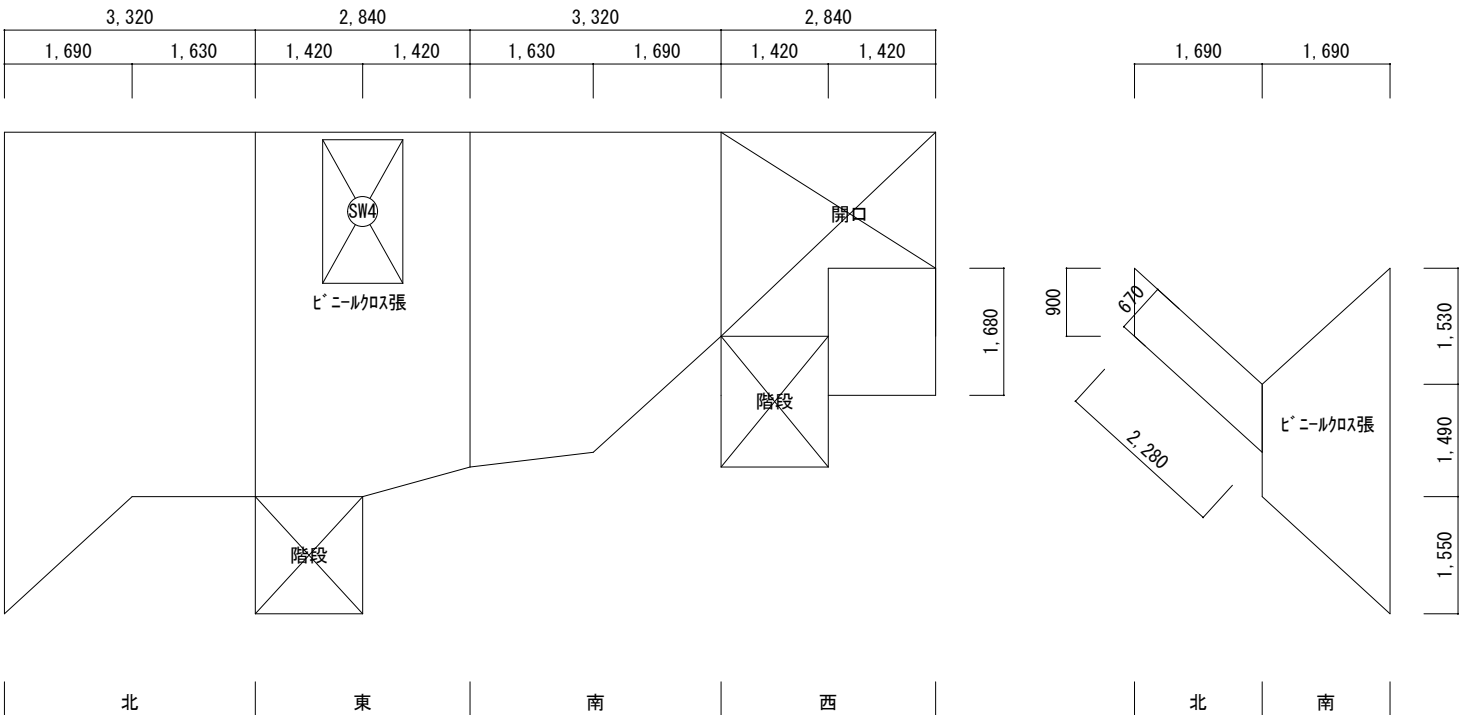
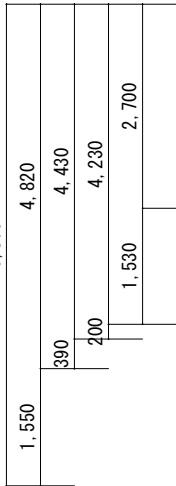
- 1階 求積図 $S=1/200$
- 2階 求積図 $S=1/200$
- 塔屋 求積図 $S=1/200$



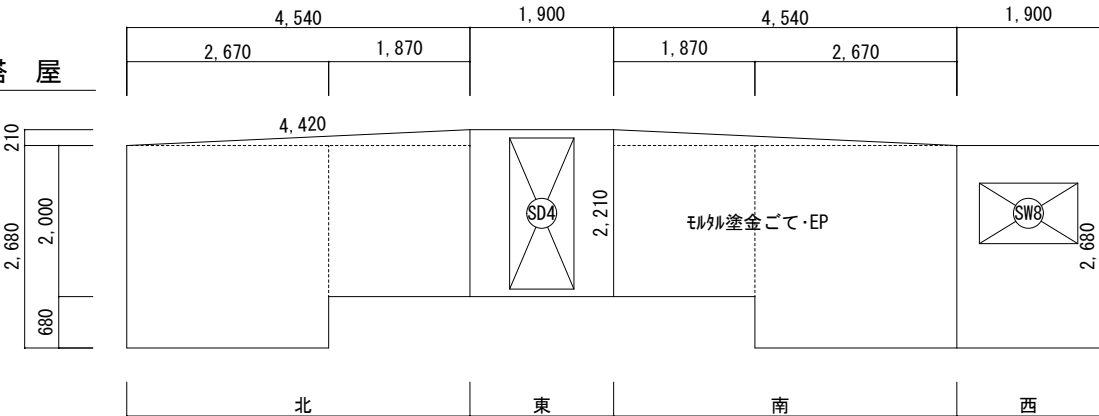
所 在 地	北見市北三条西一丁目2番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目6番地1
所 有 者	



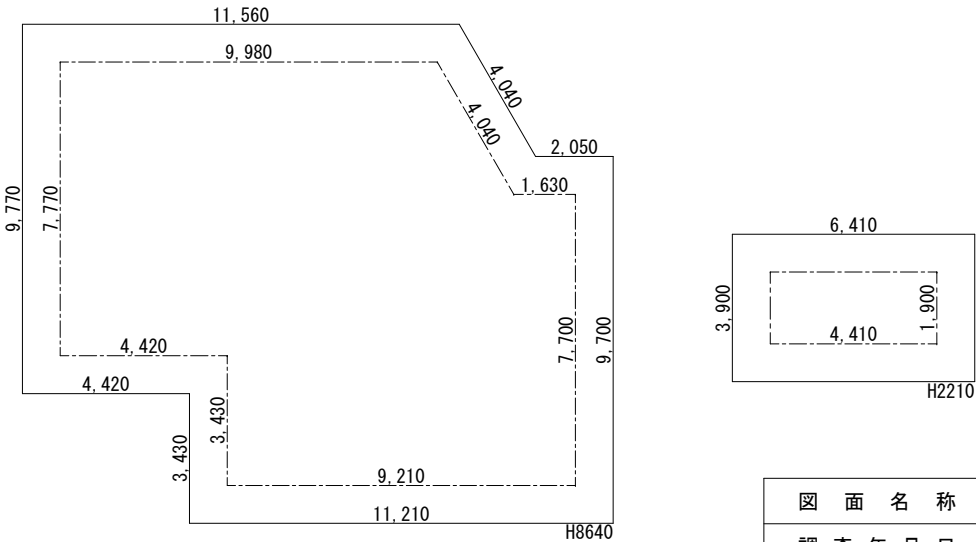
7. 階段室



16. 塔 屋



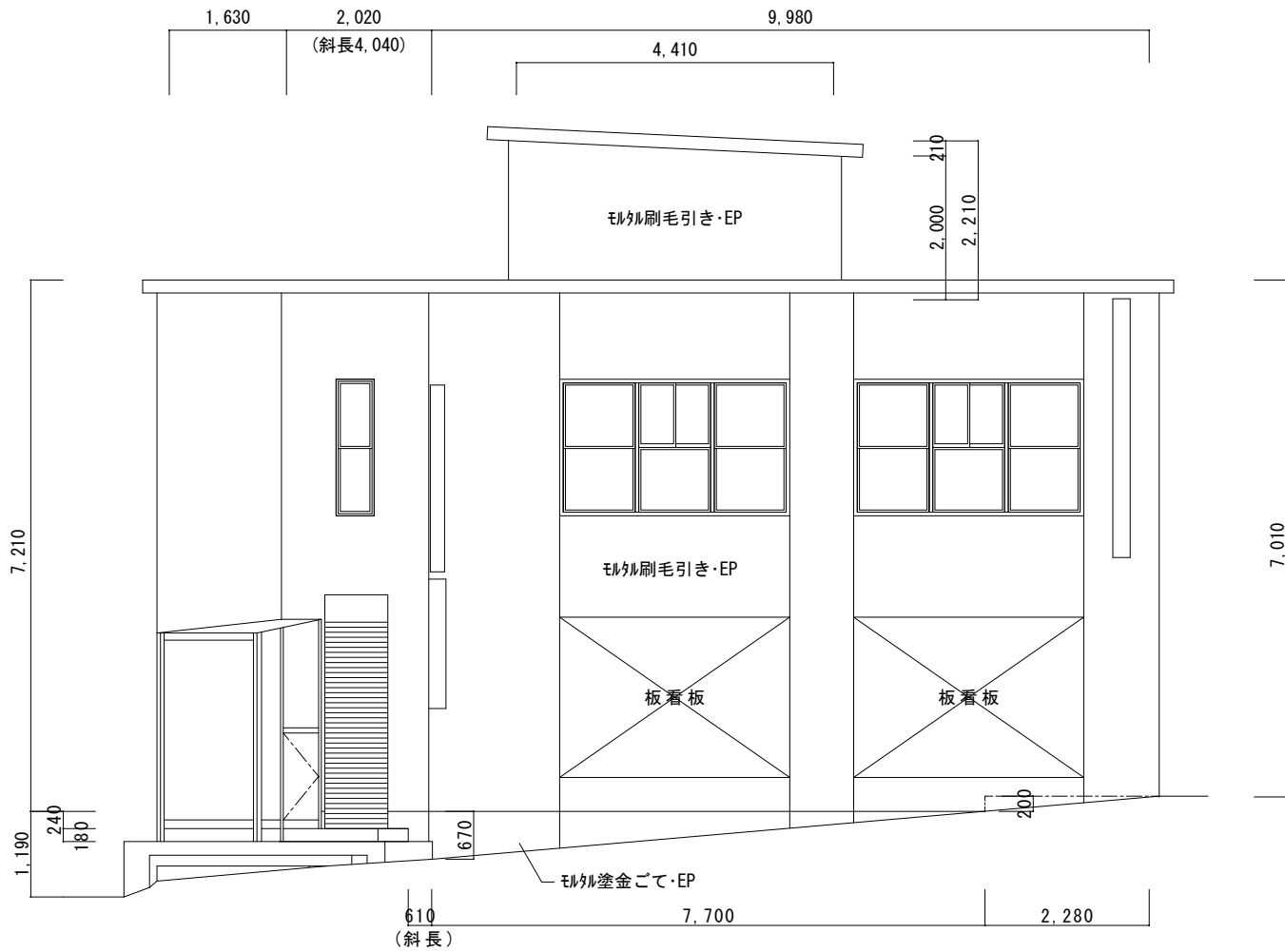
展開図 1/100



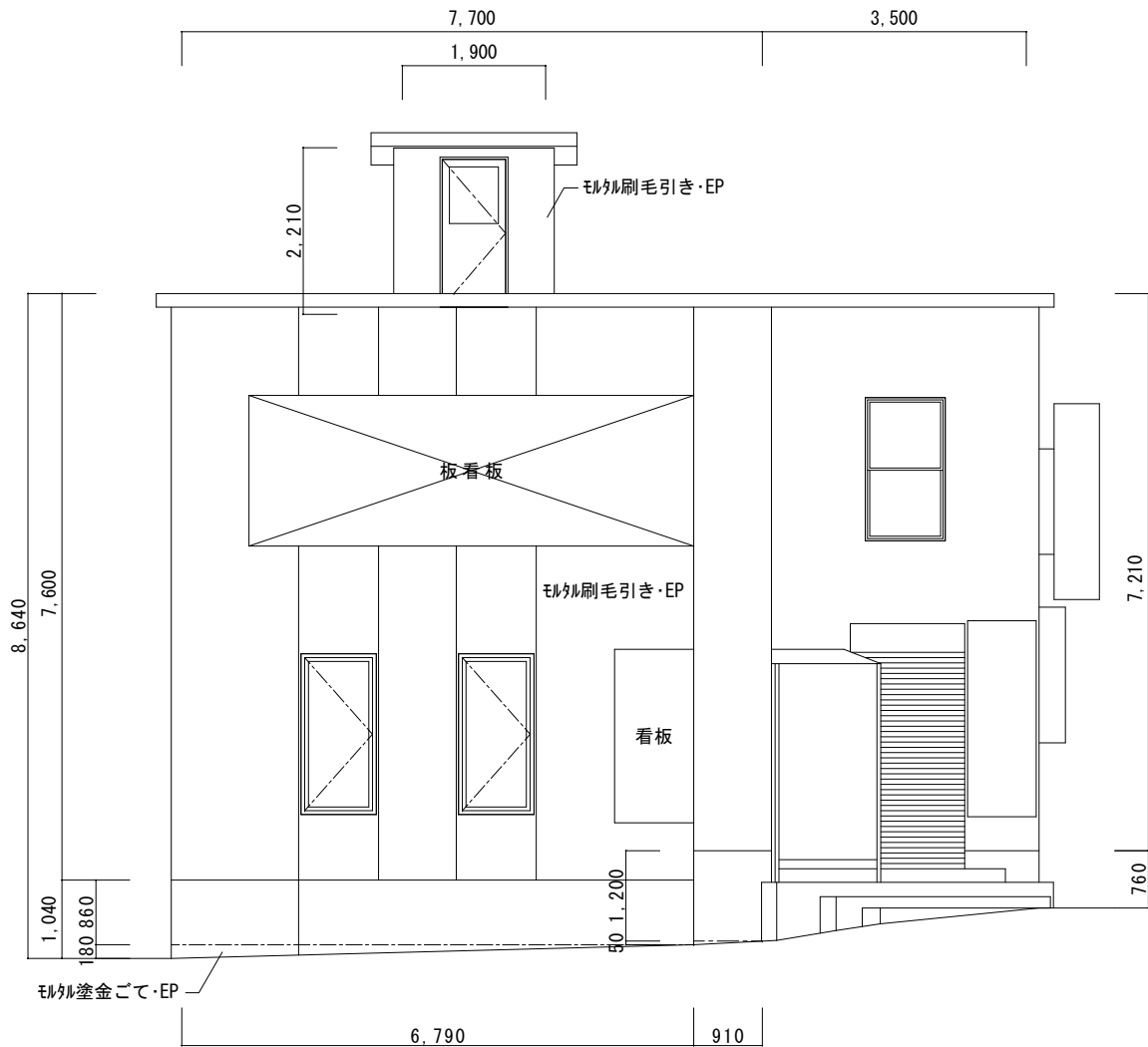
外部足場計算図 1/200

図 面 名 称	平 面 図	縮 尺	図 示
調 査 年 月 日	令和 4 年 4 月 26 日		

所 在 地	北見市北三条西一丁目2番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目6番地1
所 有 者	



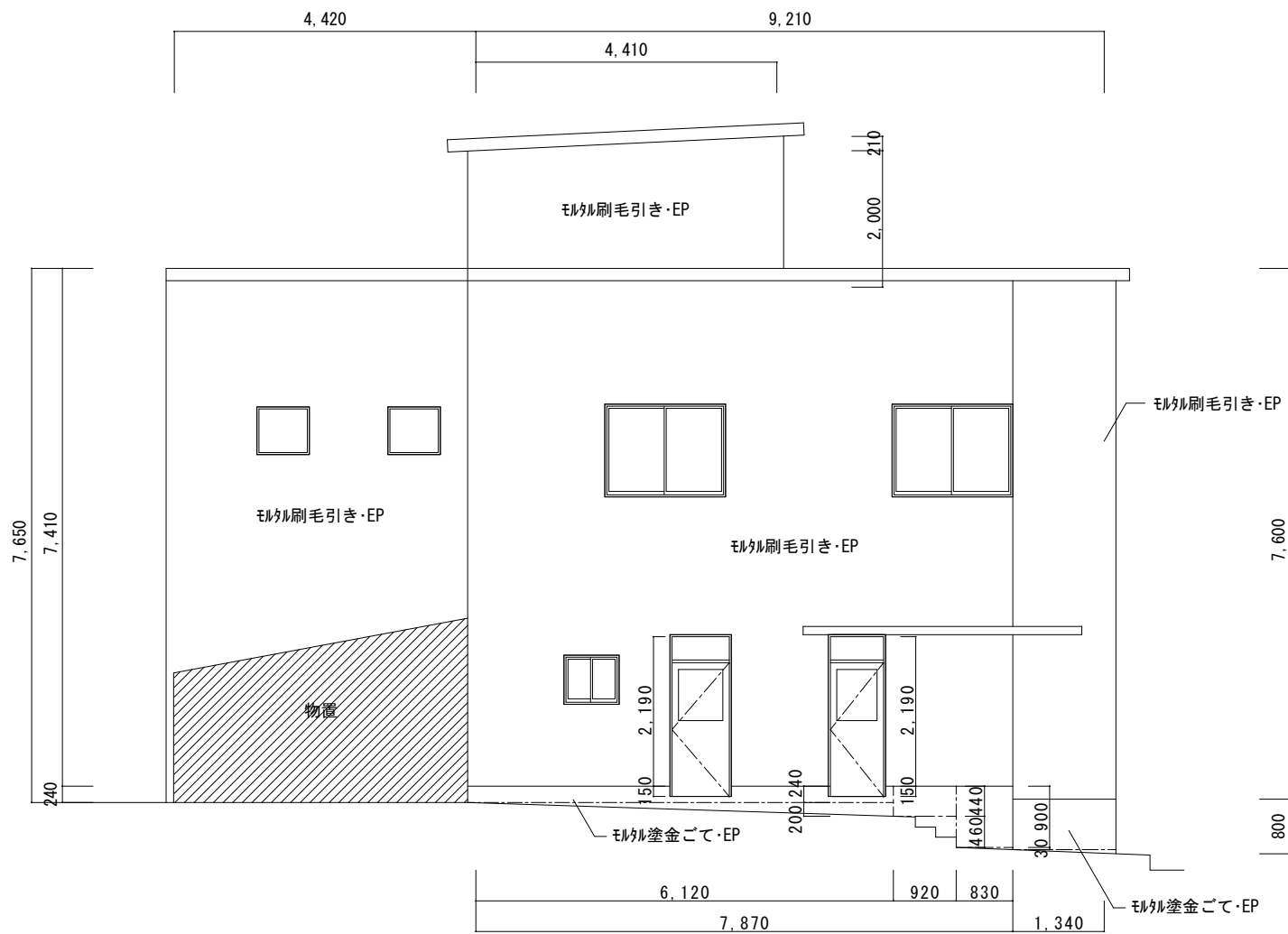
北 立 面 図



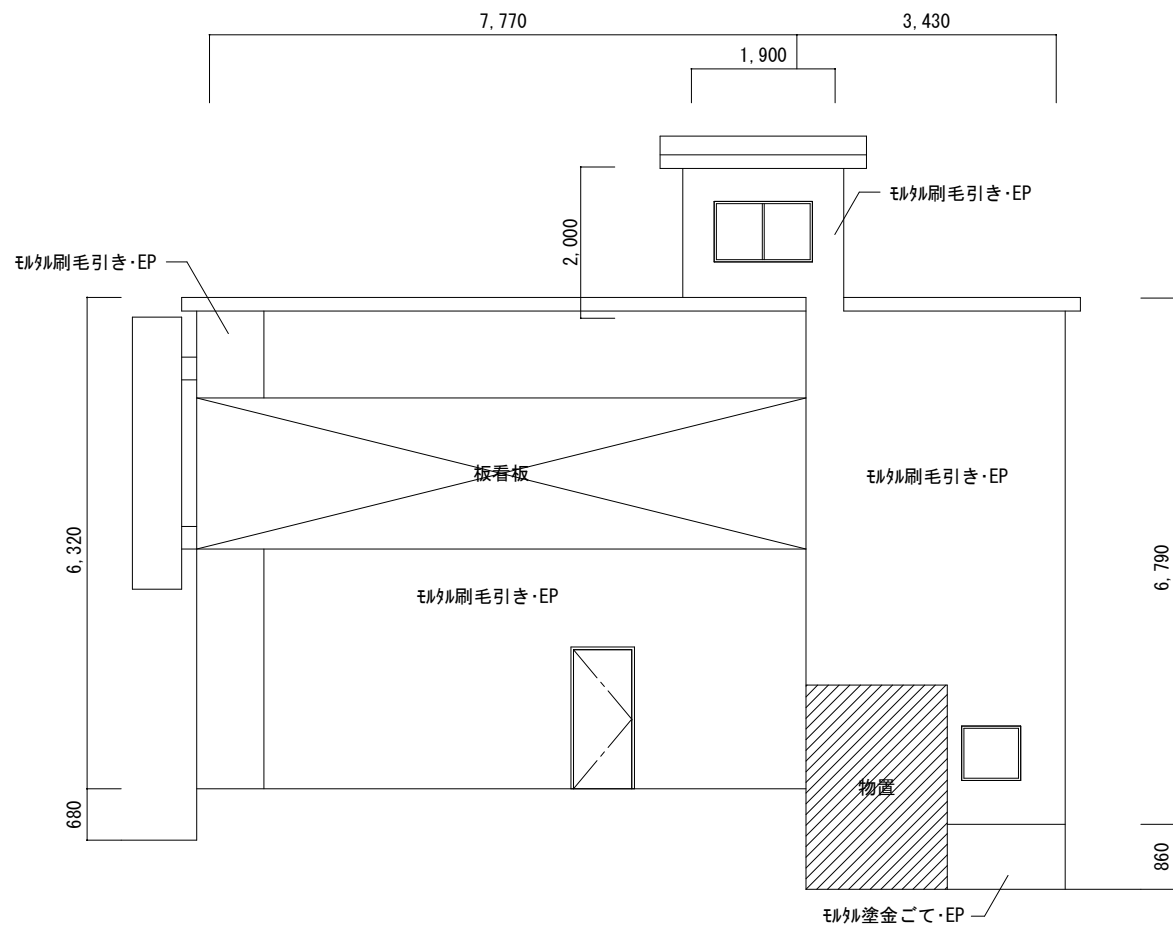
東 立 面 図

図 面 名 称	立 面 図	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日	令和 4年 4月 26日		

所 在 地	北見市北三条西一丁目2番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目6番地1
所 有 者	



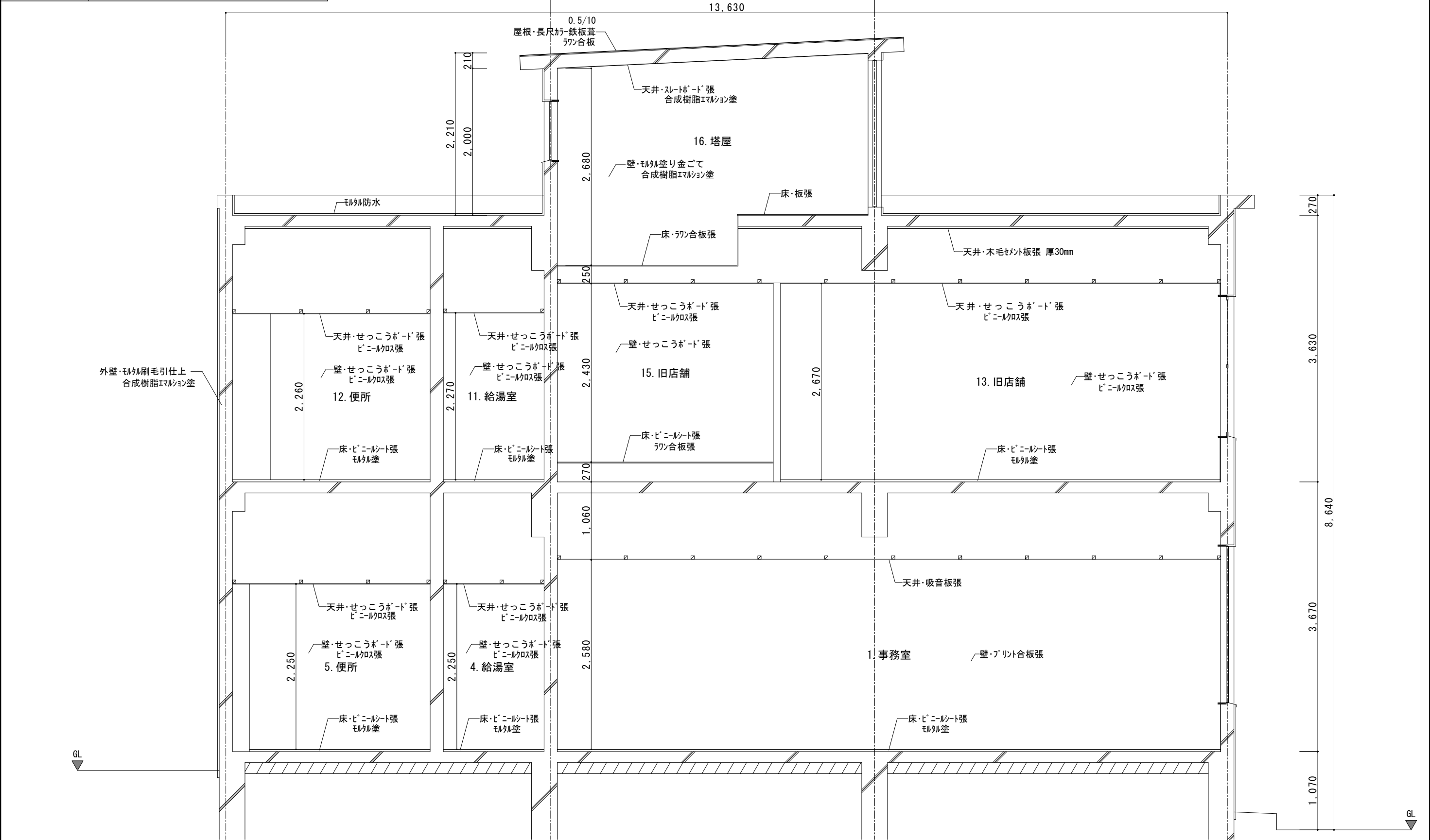
南 立 面 図



西 立 面 図

図 面 名 称	立 面 図	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日	令和 4年 4月 26日		

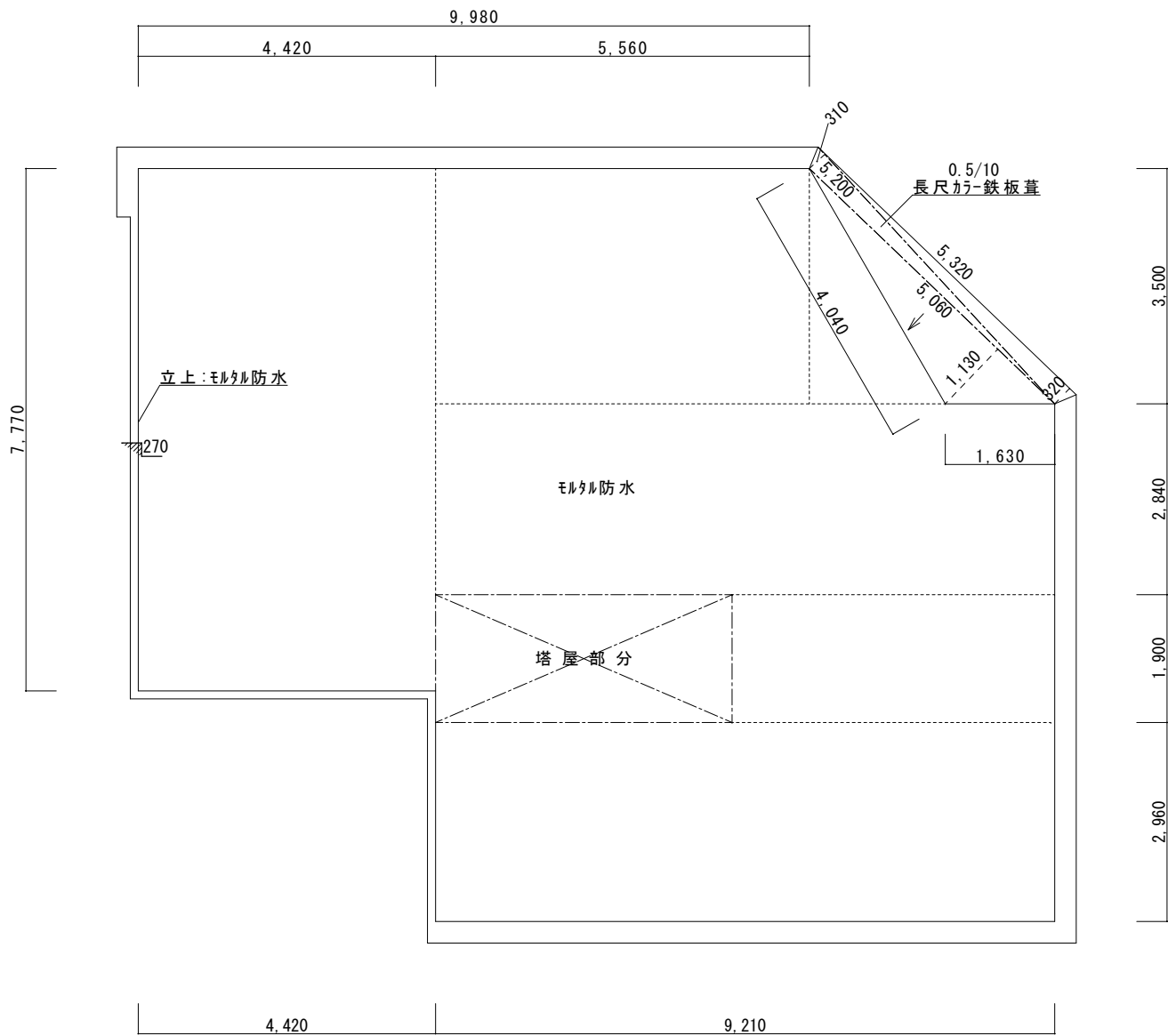
所 在 地	北見市北三条西一丁目2番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目6番地1
所 有 者	



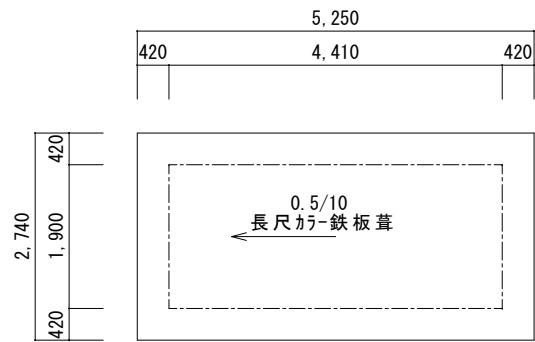
断面図 1/50

図 面 名 称	断 面 図	縮 尺	1/50
調 査 年 月 日	令和 4 年 4 月 26 日		

所 在 地	北見市北三条西一丁目2番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目6番地1
所 有 者	



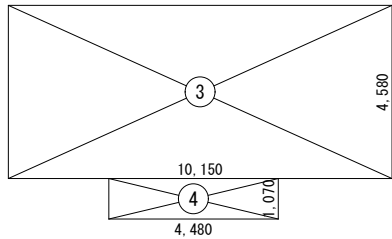
2 階屋根伏図 1/100



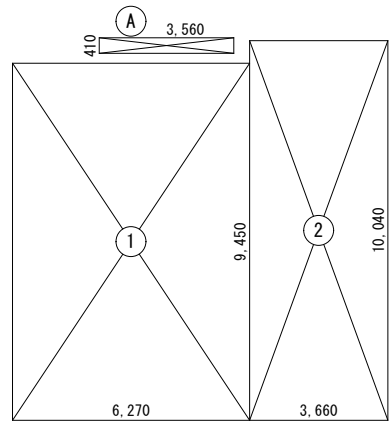
塔屋屋根伏図 1/100

図 面 名 称	屋 根 伏 図	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日	令和 4年 4月 26日		

所在地	北見市北三条西一丁目1番地2
所有者住所	北見市北三条西一丁目6番地1
所有者	
構造概要	
構造	1階:れんが造 2階:木造
用途	店舗
基礎	布コンクリート基礎
屋根	長尺カラー鉄板葺
外壁	モルタル刷毛引き・EP 一部吹付タイル



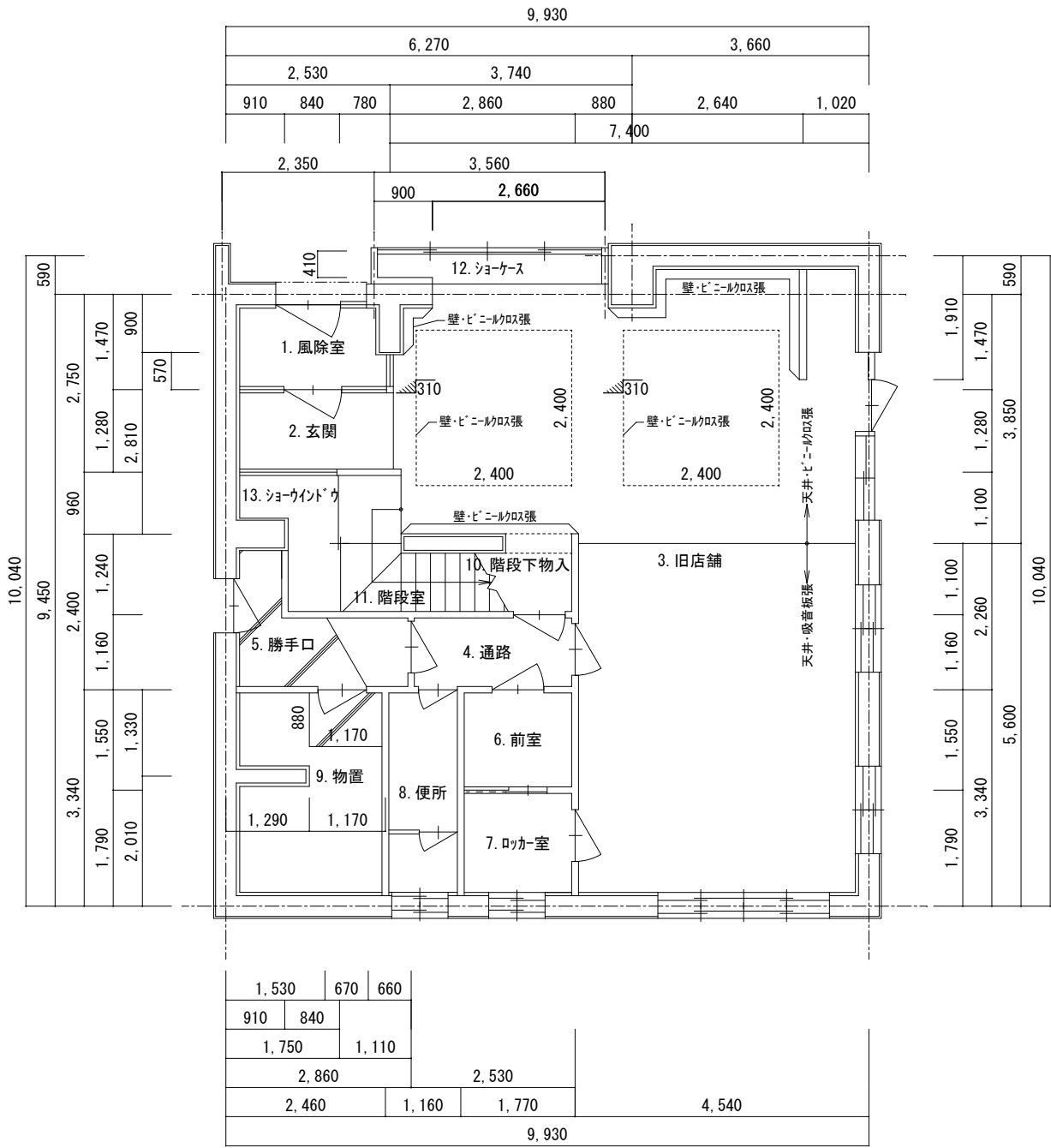
2階 求積図 S=1/200



1階 求積図 S=1/200

求積表			
階層	番号	計算式	数量 <m²>
1階	1	6.27 × 9.45	59.2515
	2	3.66 × 10.04	36.7464
	A	3.56 × 0.41	1.4596
1階床面積			97.45
2階	3	10.07 × 4.55	45.8185
	4	4.48 × 1.025	4.5920
2階床面積			50.41
延床面積			147.86

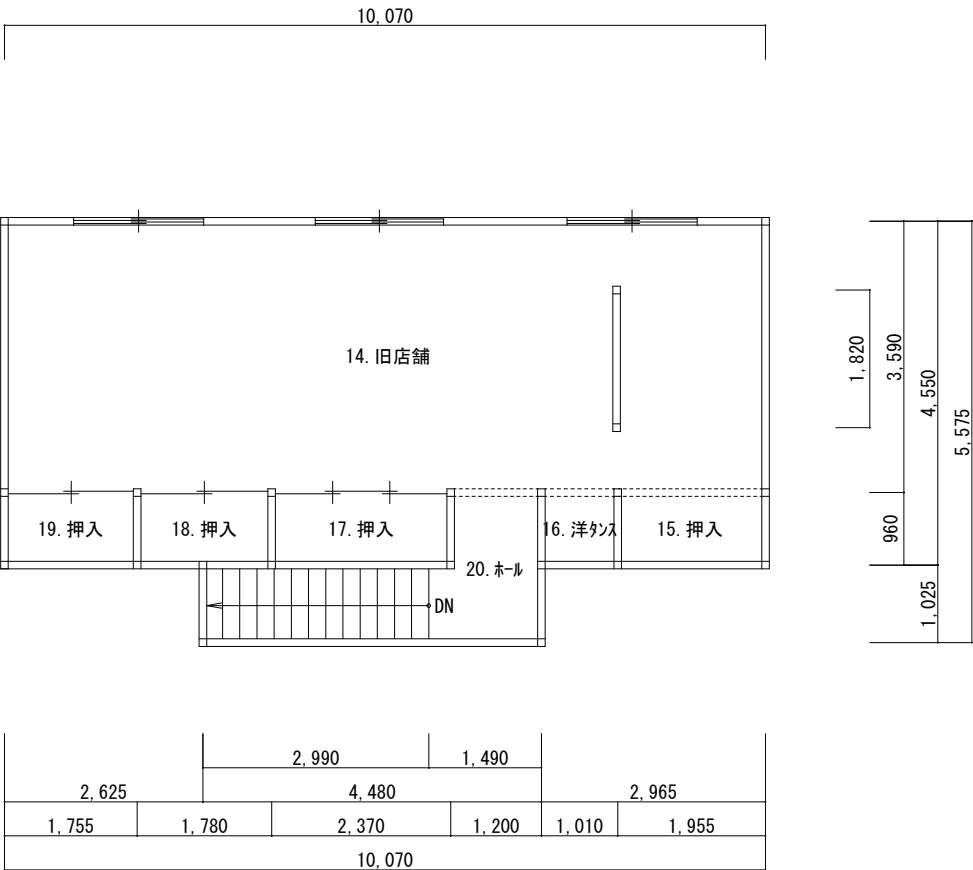
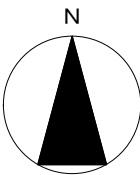
建築面積表		
番号	計算式	数量 <m²>
1	6.27 × 9.45	59.2515
2	3.66 × 10.04	36.7464
計		95.99



1階平面図 1/100

図面名称	平面図・求積図	縮尺	1/100 1/200
調査年月日	令和 4年 4月 26日		

所 在 地	北見市北三条西一丁目1番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目6番地1
所 有 者	



2 階 平 面 図 1/100

図 面 名 称	平 面 図	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日	令和 4年 4月 26日		

様式第8

所 在 地	北見市北三条西一丁目1番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目6番地1
所 有 者	

外部仕上表

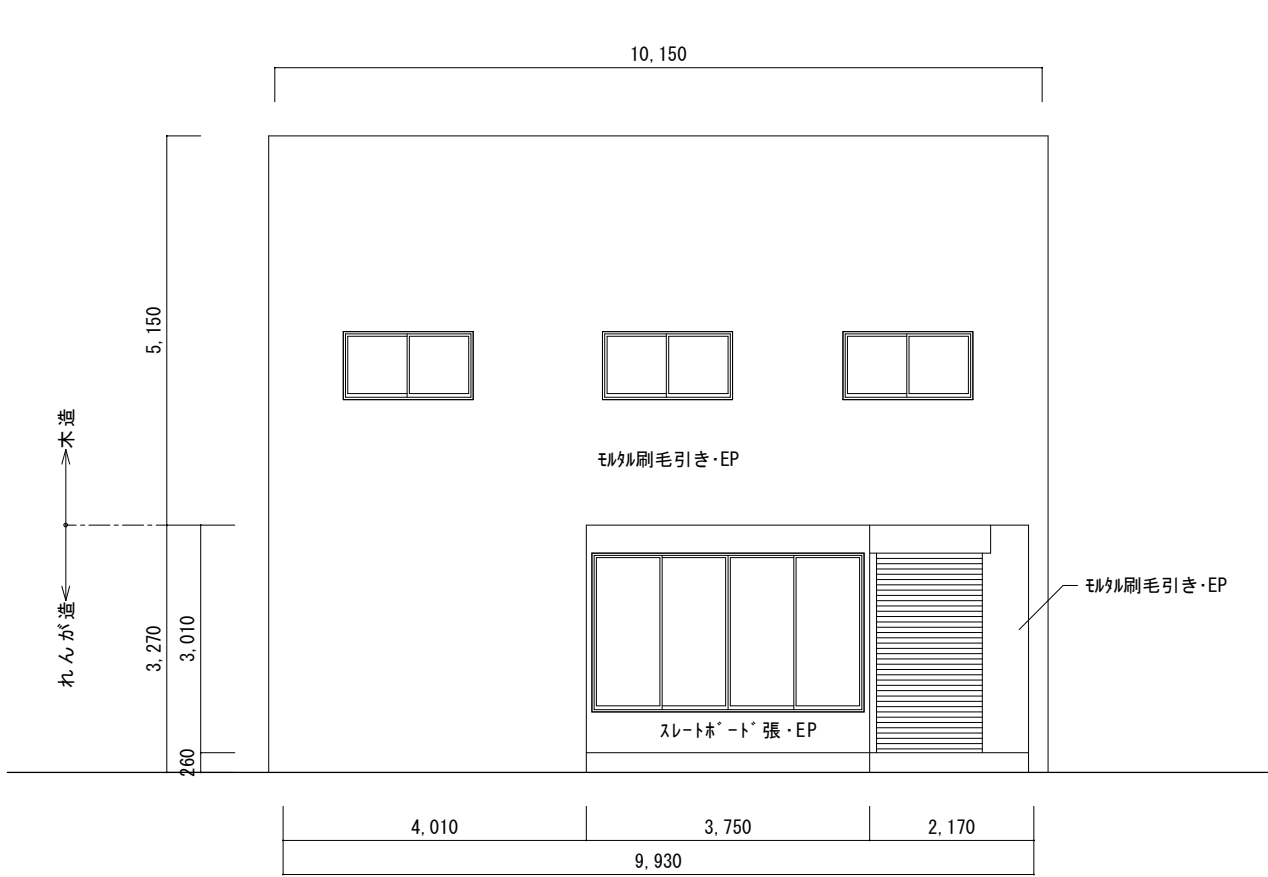
名 称	仕 上
外 壁	モルタル刷毛引仕上・EP
開 口 部	アルミトア、アルミサッシ
基 礎	鉄筋コンクリート布基礎、モルタル刷毛引仕上・EP
屋 根	長尺カラー鉄板葺(厚0.35mm)
軒 天	モルタル刷毛引仕上・EP

内部仕上表

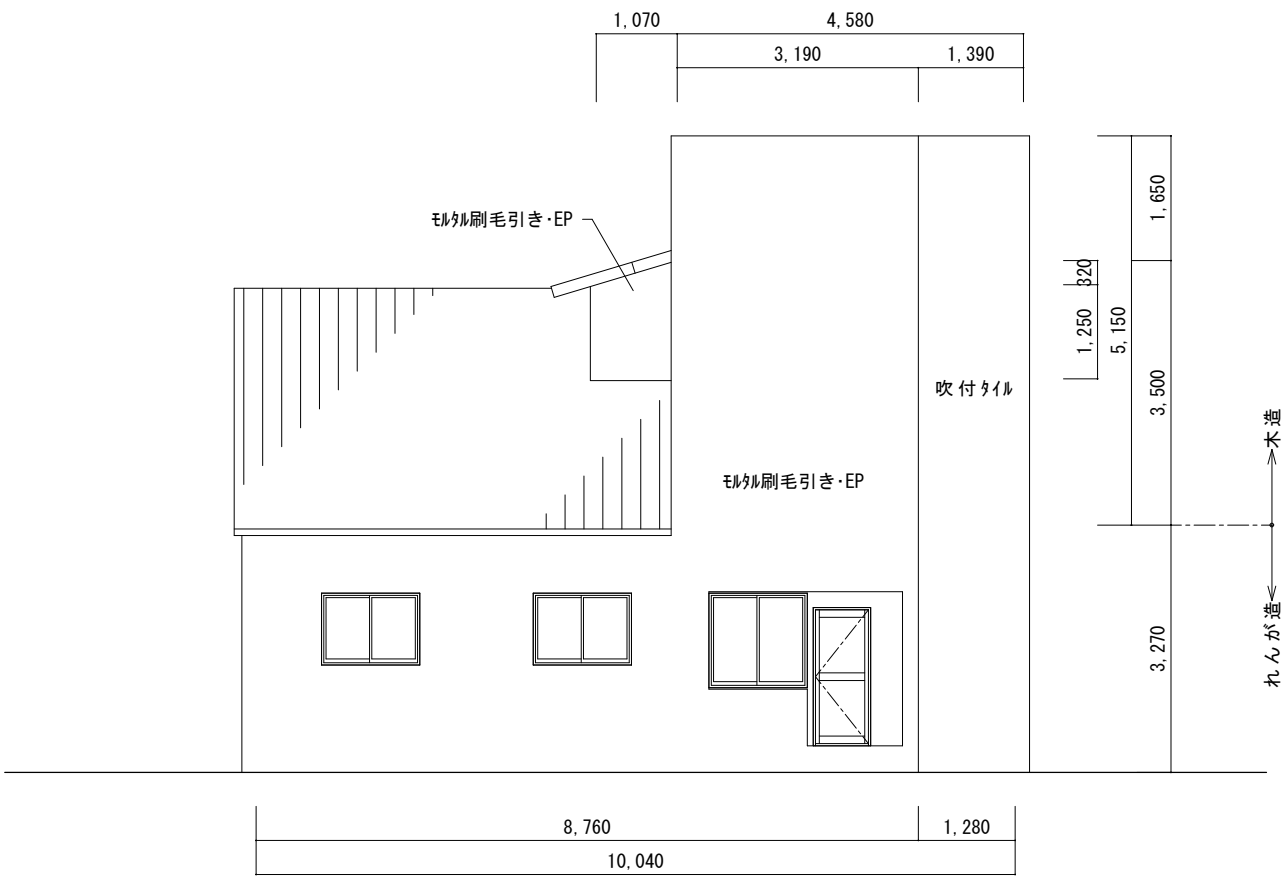
室番	室名	床	巾 木	壁	天 井	天井高	備 考
1	風除室	カーペット敷 モルタル塗(厚28mm)	幅木(米つが)	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	2,580	回り縁(米つが)
2	玄 関	カーペット敷 モルタル塗(厚28mm)	幅木(米つが)	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	2,600	回り縁(米つが)
3	旧店舗	カーペット敷 ラワン合板張(厚12mm)	—	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm) フリント合板張(厚4mm)	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm) 吸音板張(厚12mm)	2,890	
4	通 路	カーペット敷 ラワン合板張(厚12mm)	—	フリント合板張(厚4mm)	吸音板張(厚9.5mm)	2,250	回り縁(米つが)
5	勝手口	コンクリート仕上げ フローリングボード張(厚15mm)	幅木(米つが)	フリント合板張(厚4mm)	せっこうボード張(厚9.5mm)	2,250	回り縁(米つが)
6	前 室	カーペット敷 ラワン合板張(厚12mm)	幅木(米つが)	フリント合板張(厚4mm)	合成樹脂エマルジョン塗(EP) せっこうボード張(厚9.5mm)	—	回り縁(米つが)
7	ロッカー室	カーペット敷 ラワン合板張(厚12mm)	幅木(米つが)	フリント合板張(厚4mm)	合成樹脂エマルジョン塗(EP) せっこうボード張(厚9.5mm)	6,370	回り縁(米つが)
8	便 所	ビニールタイル張 ラワン合板張(厚12mm)	幅木(米つが)	合成樹脂エマルジョン塗(EP) せっこうボード張(厚9.5mm) フリント合板張(厚4mm)	合成樹脂エマルジョン塗(EP) せっこうボード張(厚9.5mm)	2,700	回り縁(米つが)
9	物 置	コンクリート仕上げ ラワン合板張(厚12mm)	幅木(米つが)	せっこうボード張(厚9.5mm)	せっこうボード張(厚9.5mm)	3,330	回り縁(米つが)
10	階段下物入	カーペット敷 ラワン合板張(厚12mm)	—	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	3,360	
11	階段室	カーペット敷	—	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	2,270	
12	ショーケース	カーペット敷 ラワン合板張(厚12mm)	—	布クロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	布クロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	2,260	回り縁(米つが)
13	ショーケース	カーペット敷 ラワン合板張(厚12mm)	—	布クロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	布クロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	2,670	回り縁(米つが)
14	旧店舗	カーペット敷 ラワン合板張(厚12mm)	—	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	2,740	
15	押 入	造作に含む	—	造作に含む	造作に含む	2,430	
16	洋タンス	造作に含む	—	造作に含む	造作に含む	2,680	
17	押 入	造作に含む	—	造作に含む	造作に含む	2,680	
18	押 入	造作に含む	—	造作に含む	造作に含む	2,680	
19	押 入	造作に含む	—	造作に含む	造作に含む	2,680	
20	ホール	カーペット敷 ラワン合板張(厚12mm)	—	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	ビニールクロス張 せっこうボード張(厚9.5mm)	2,680	

図 面 名 称	仕 上 表	縮 尺	—
調 査 年 月 日	令和 4 年 4 月 26 日		

所 在 地	北見市北三条西一丁目1番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目6番地1
所 有 者	



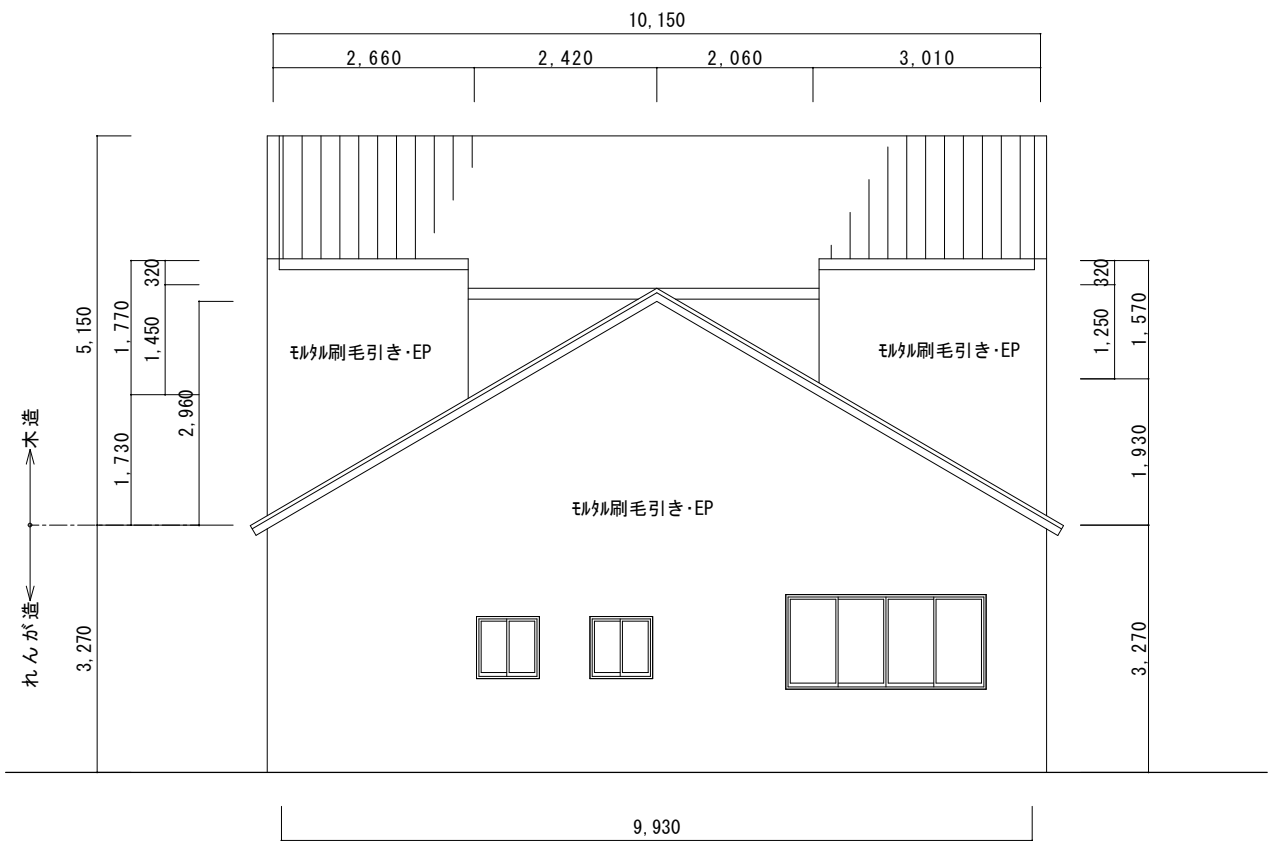
北 立 面 図



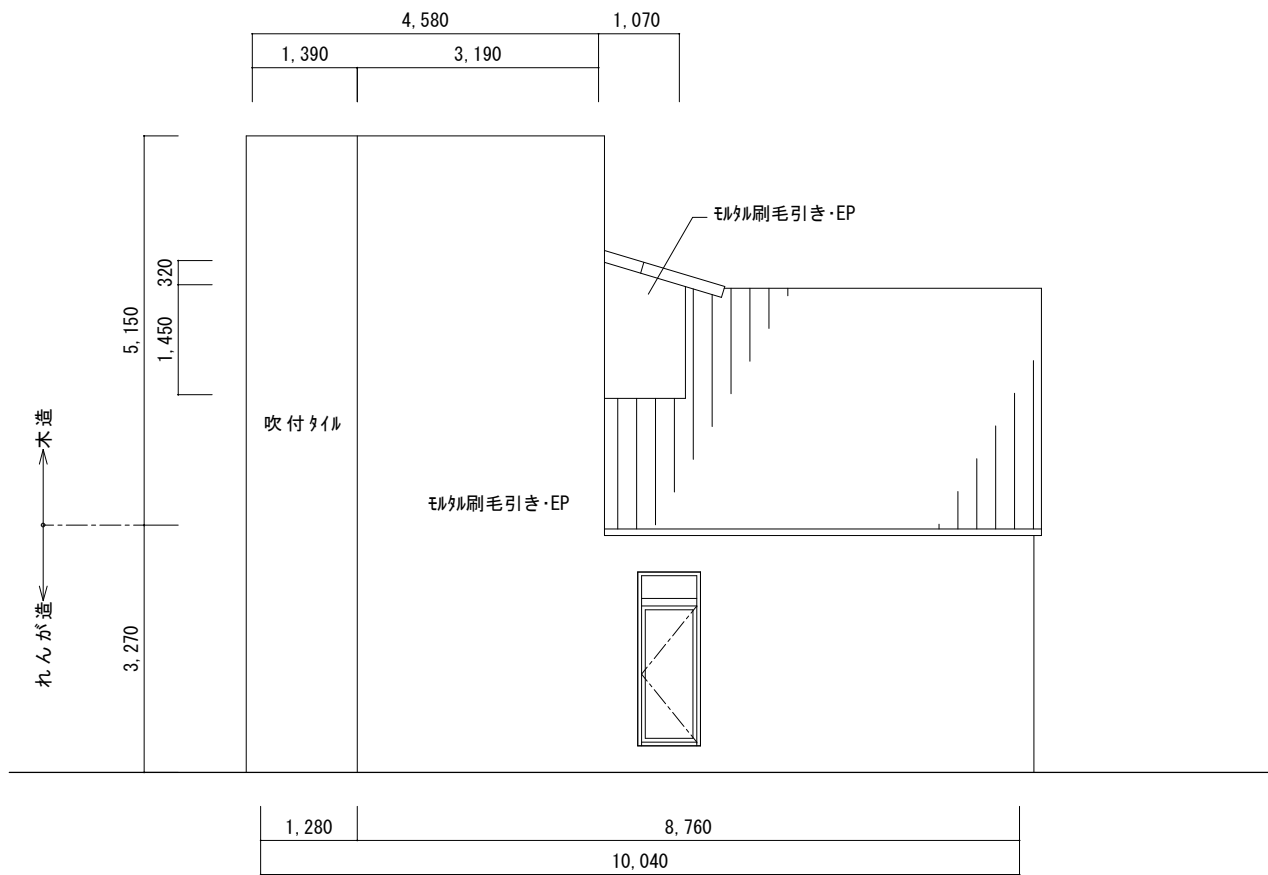
東 立 面 図

図 面 名 称	立 面 図	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日	令和 4年 4月 26日		

所 在 地	北見市北三条西一丁目1番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目6番地1
所 有 者	



南 立 面 図



西 立 面 図

図 面 名 称	立 面 図	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日	令和 4年 4月 26日		

所 在 地	北見市北三条西一丁目1番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目6番地1
所 有 者	

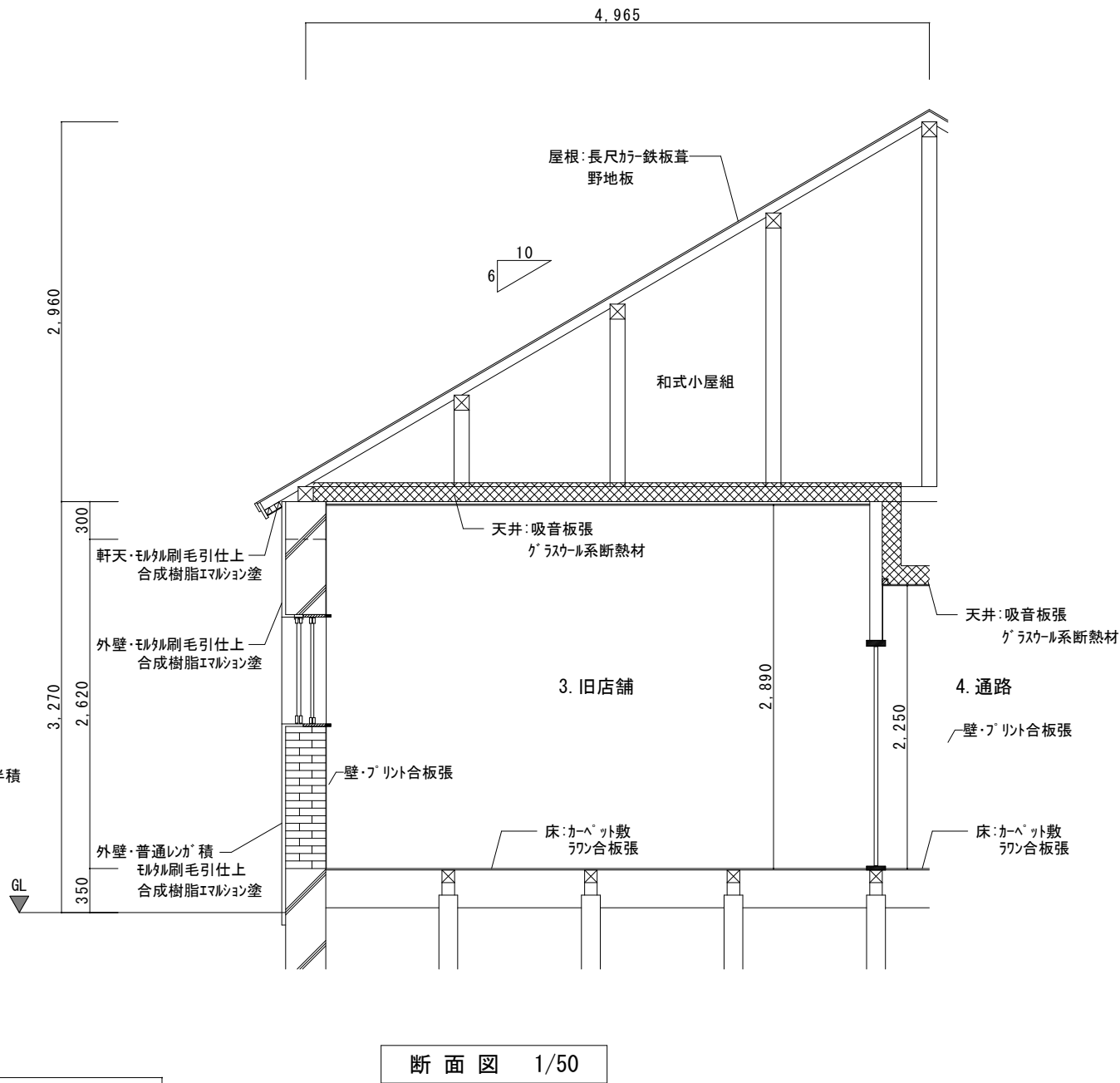
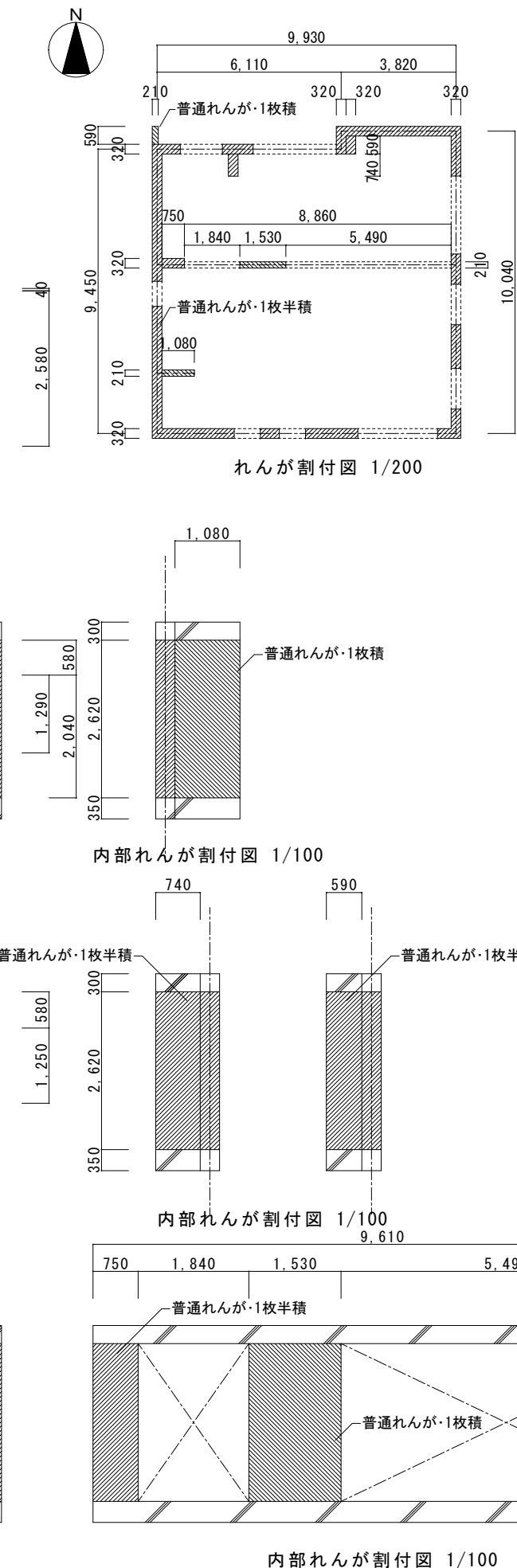
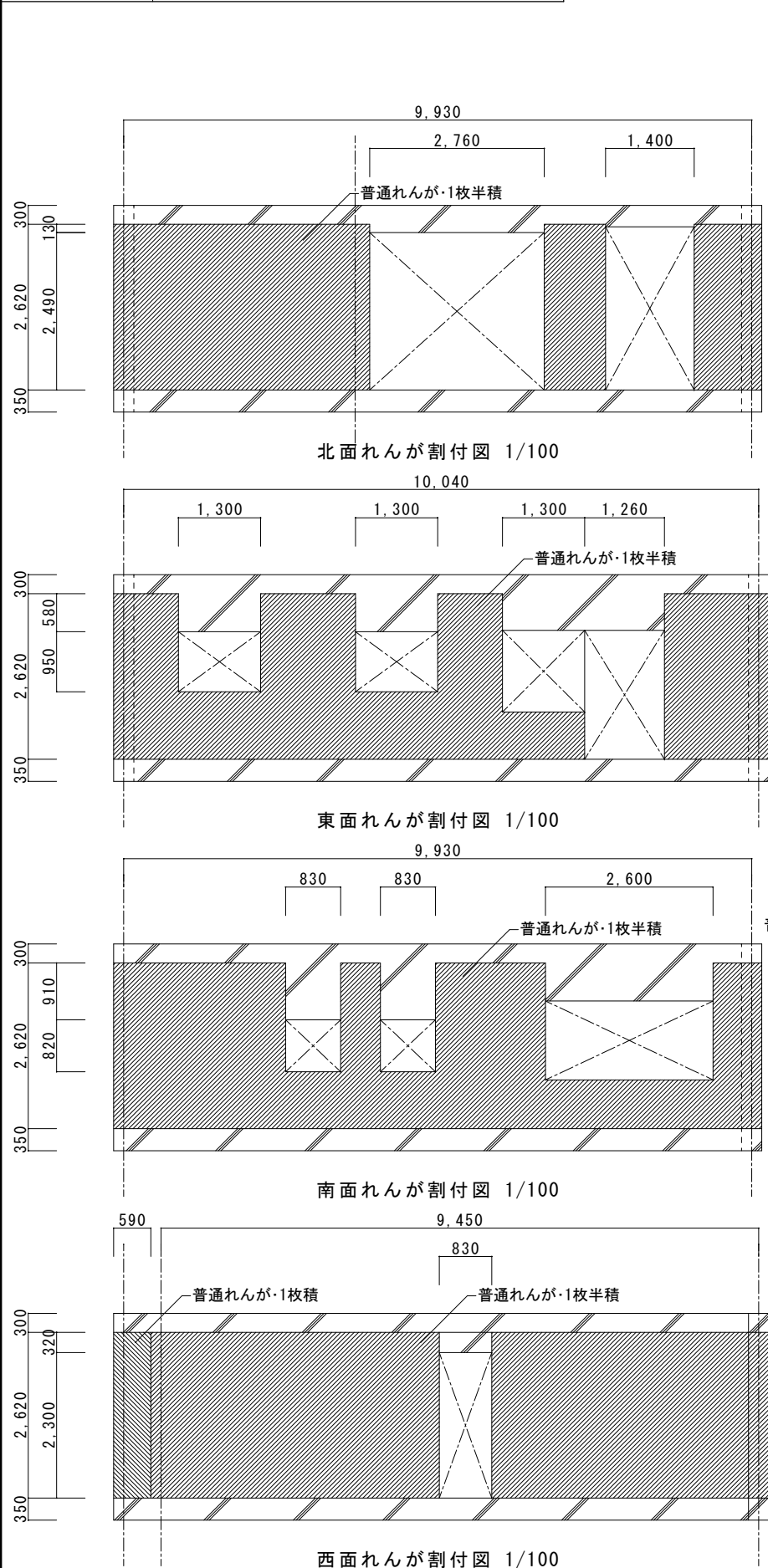
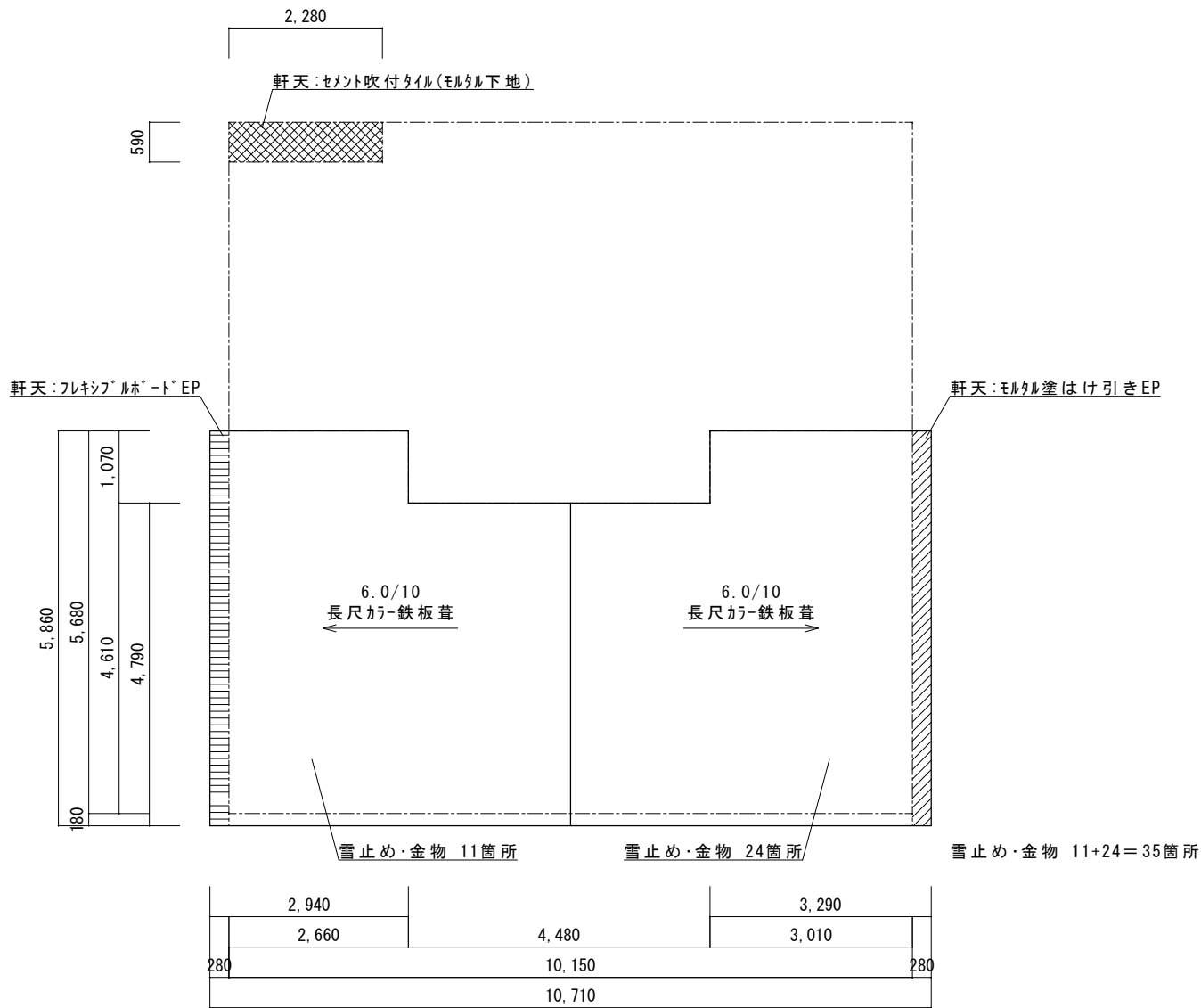
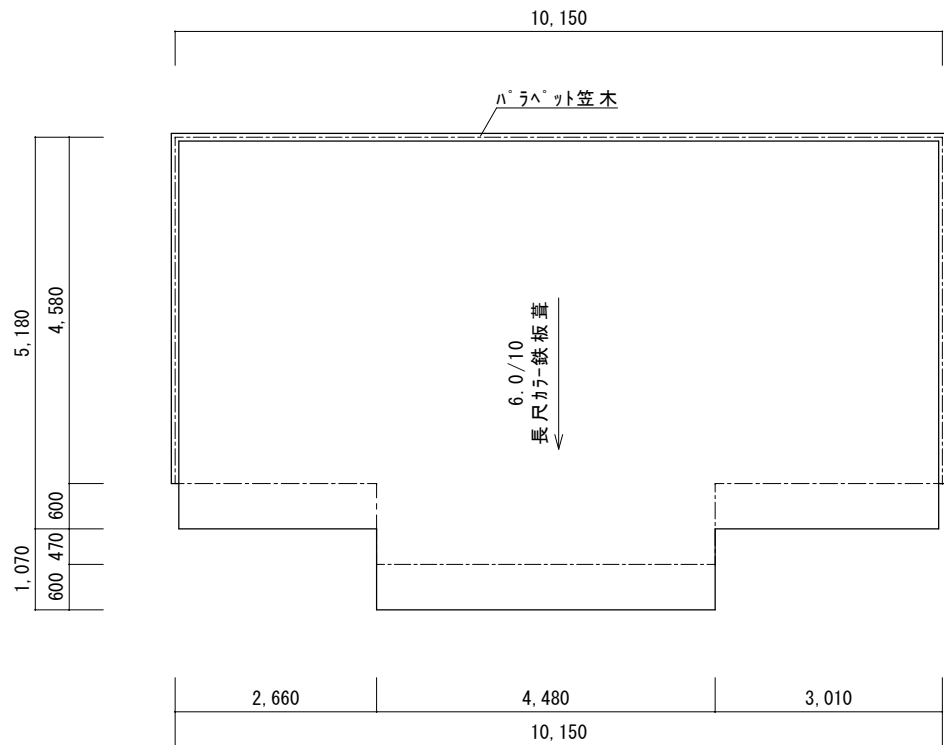


図 面 名 称	断面図・割付図	縮 尺	図 示
調 査 年 月 日	令和 4 年 4 月 26 日		

所 在 地	北見市北三条西一丁目1番地2
所 有 者 住 所	北見市北三条西一丁目6番地1
所 有 者	



1 階屋根伏図 1/100



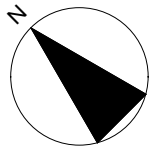
2 階屋根伏図 1/100

屋根仕上	求積表	勾配 3.0/10	軒出 0.600
(仕上) 長尺カラ-鉄板葺			傍軒出
厚0.35mm・野地板を除く下地共			
10.150 ×	5.180 × (係数)	1.044 =	54.890
4.480 ×	1.070 × (係数)	1.044 =	5.004
	計	(2階)	59.894
		=	59.894
	合 計		59.89 m ²

図 面 名 称	屋 根 伏 図	縮 尺	1/100
調 査 年 月 日	令和 4年 4月 26日		

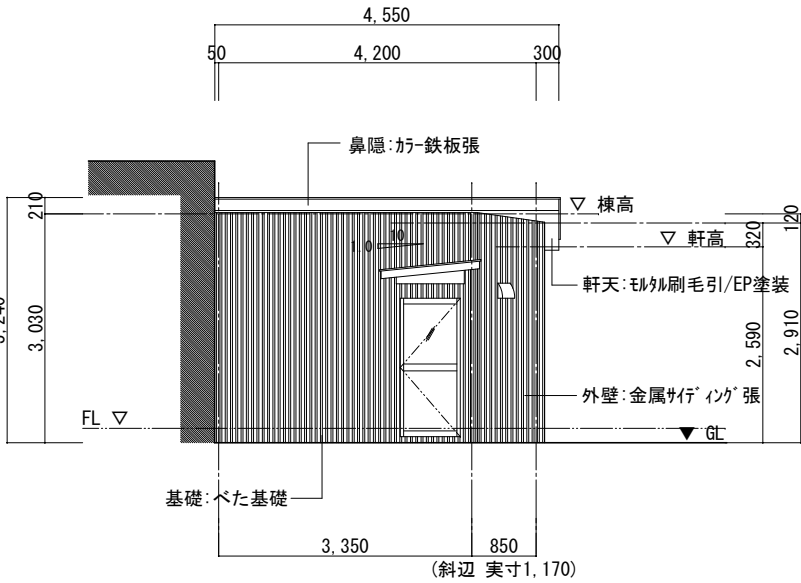
所在地	北見市北三条西一丁目 4番地
所有者住所	北見市北三条西一丁目6番地1
所有者	
構造概要	
構造	木造平家建
用途	物置
基礎	べた基礎 厚150mm・有筋
屋根	長尺ｶｰﾃﾞｰﾙ板葺
外壁	金属ｼｬｲﾂｲﾝｸﾞ張

室名	印刷室	No.	1
壁	壁・断熱材張 厚30mm 木造胴縁組		
床	床・ｶｰﾍﾟｯﾄ敷 ﾓｰﾄﾞﾙﾊﾞﾝﾅ 床・ﾌﾗﾝｹﾞ合板張 厚12mm 木造ころばし床組		
天井	天井・断熱材張 厚30mm 木造胴縁組		
天井高	2.15 m		

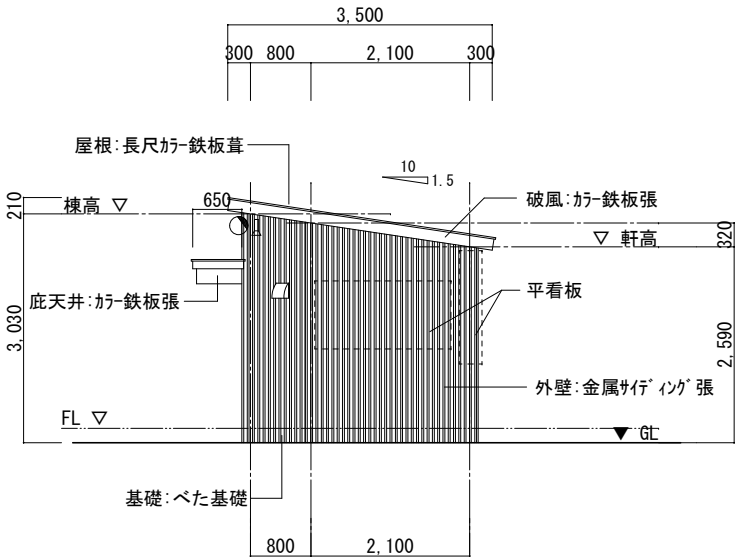


求積表			
階層	番号	計算式	数量 <m²>
1階	1	2.00×3.12	6.2400
	2	0.90×2.65	2.3850
	3	1.20×0.85	1.0200
	4	0.80×0.85×0.5	0.3400
1階床面積			9.98
延床面積			9.98

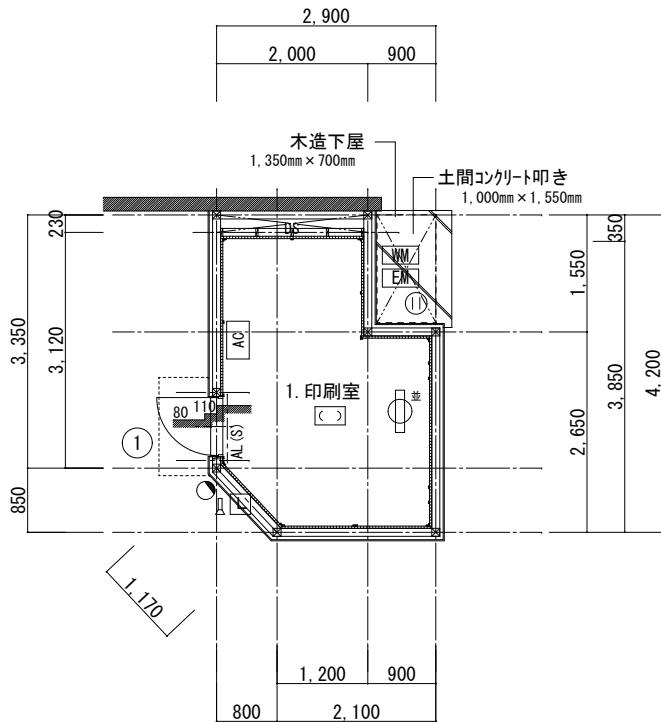
求積表（軸部面積）			
階層	番号	計算式	数量 <m²>
1階	1	2.00×3.35	6.7000
	2	0.90×2.65	2.3850
	3	1.20×0.85	1.0200
	4	0.80×0.85×0.5	0.3400
1階床面積			10.44
延床面積			10.44



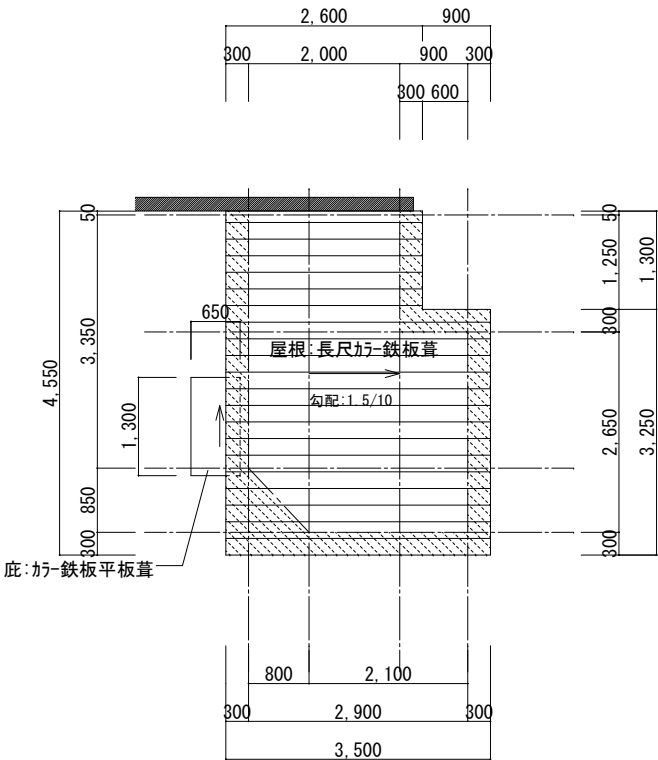
西側立面図 1/100



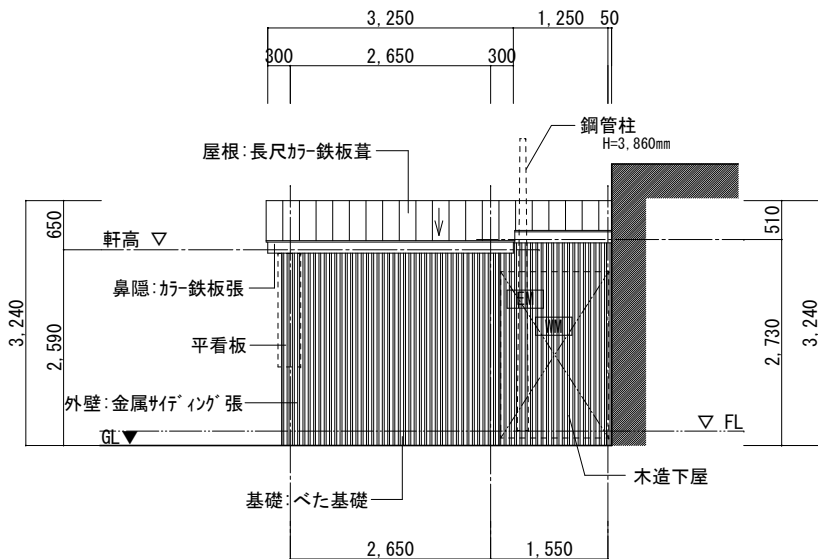
南側立面図 1/100



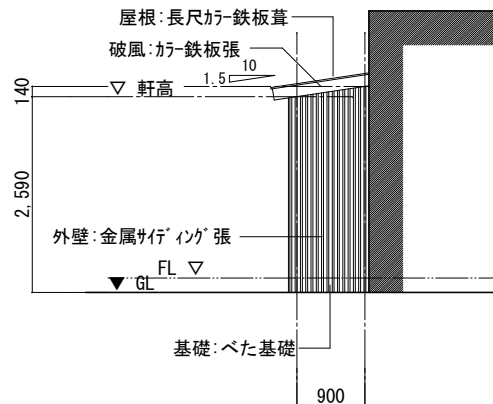
1階平面図 1/100



屋根平面図 1/100



東側立面図 1/100



北側立面図 1/100

建具表									
番号	記号	仕上名称	幅	高さ	面積	枚	個所	数量	単位
1	AD	勝手口ドア 幅770mm×高さ1,830mm・ランマ無	0.770	1.830	1.409		1	1.409	ヶ所

電気設備集計表				
記号	名称	規格	数量	単位
□	電灯取付器具		1.00	ヶ所
⊙	照明器具	事務所系・店舗系・並	1.00	ヶ所
○	照明器具	事務所系・店舗系・並	1.00	ヶ所
⊙	防犯カメラ		1.00	ヶ所
AC	ﾍﾞﾙﾚｰﾄ型・ｲﾌｵﾝ	暖冷房除湿型・冷房能力2.2kw	1.00	ヶ所
	電灯配線配管設備(木造)	事務所系・付属品共・(器具含まず)	5.00	ヶ所
	配線器具集計	取付器具 1 +照明器具 2 +カメラ 1 +ｲﾌｵﾝ 1		

造作、附随工作物集計表				
記号	名称	規格	数量	単位
AL(S)	カーテンレール	ｼﾝｸﾞﾙ・1.0m程度・ｱﾙﾐ製	1.00	組
L	室内換気口		1.00	ヶ所
	木製箱底・(平鉄板葺)	幅1,300mm×奥行き650mm・裏板ｶｰﾃﾞｰﾙ仕上	1.00	ヶ所
□	垂鉛鉄板平看板	木枠・高さ900mm×幅1,800mm・看板下1.5m・壁面付	1.00	ヶ所
□	垂鉛鉄板平看板	木枠・高さ1,500mm×幅600mm・看板下1.5m・壁面付	1.00	ヶ所
□	木造下屋[掘立・外壁無]	硬質塩化波板葺・面積3㎡未満	0.95	㎡
□	鋼管ﾎｰﾙ	鋼管ﾎｰﾙ・高さ3,860mm	1.00	基
□	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ叩き	厚60mm・無筋・(DC01)・すき取り・不用土処分共	1.55	㎡

図面名称	求積表・各平面図・立面図 他	縮尺	1/100
調査年月日	令和 4年 4月 26日		